

42848

教科書文庫

4
293
41-1909
20000 66259

Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

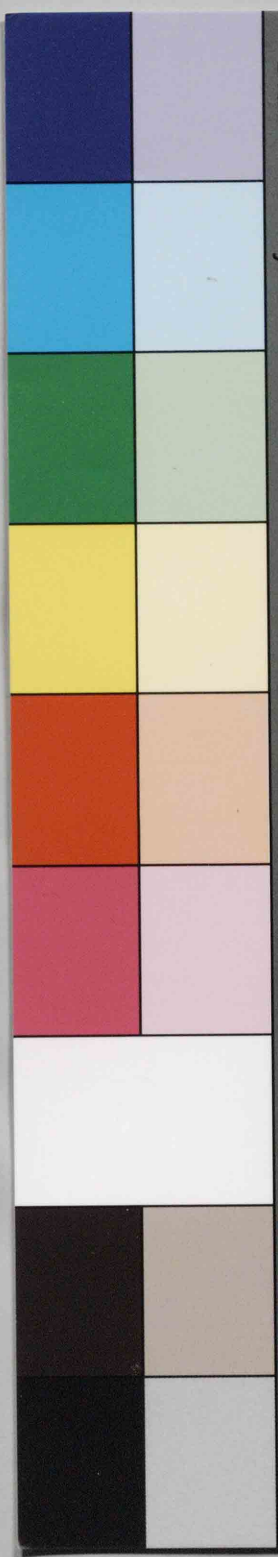


© Kodak, 2007 TM: Kodak

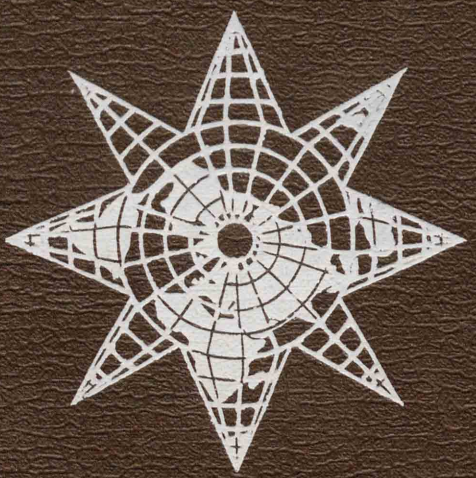
Kodak Color Control Patches

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

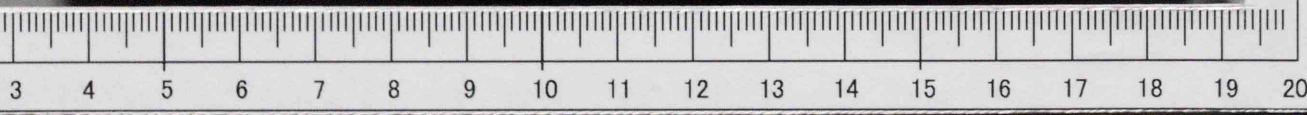
© Kodak, 2007 TM: Kodak



4a
293
BP42



教科
41-
2000



資料室

教科書文庫
4
293
41-1909
2000066259

浜本純逸寄贈

聯合  
19.5.22

聯合  
15

4a  
293  
M42

聯合  
12.5.21

日七十月三年二十四治明  
濟定檢省部文

六盟館編輯所編纂

書之印

和文

訂修外國新地理 下卷

東京

合資  
會社  
六盟館發兌

理科  
雜  
8  
共三

圖書  
8628  
民國十四年  
五月廿二日

訂修 外國新地理 下卷 目次

第四編 亞弗利加洲

第一章 總論

境域

地勢

水誌

氣候・天産

第二章 地方誌

第一節 北部アフリカ

(甲)ニール地方

(乙)バルリ諸邦

第二節 東部アフリカ

第三節 南部アフリカ

(甲)英領南部アフリカ

(乙)獨領南部アフリカ

第四節 西部アフリカ

(甲)下ギネア

(乙)上ギネア・セネガンビア

第五節 サハラ・スダン

第六節 近海島嶼

第三章 結論

住民

沿革・政治

頁



第五編 南亞米利加洲

第一章 總論

境域

地勢

氣候・天産

第二章 各國誌

第一節 西部諸國

コロンビア エクアドル

ペネスエラ グイヤナ

第三章 結論

政治

住民

交通

第六編 北亞米利加洲

第一章 總論

境域

海岸

地勢

水誌

氣候・天産

第二章 各國誌

第七編 兩極地方

北極地方

南極地方

人文地理上 我が帝國と世界との對照

人口

人種

言語

宗教

教育

交通

貿易

國體・政體

軍備

外交

屬地

結論

銘記	帝	國	國	概	覽	列國	と	比	較
面積	二萬九千方里								
海岸線	七千四百里								
人口	五千萬人								
海外在留民	二十六萬人								
歲出入	各六億圓								
內國債	十一億圓								
外國債	十一億圓								
軍艦全噸數	五十萬噸 <small>(建造中の合算)</small>								
商船全噸數	百四十萬噸 <small>(内帆船三十五萬噸)</small>								
鐵道延長	五千哩								
貿易年額	九億圓								
橫濱港貿易年額	三億五千萬圓								
神戸港貿易年額	三億圓								
橫濱港出入船舶	六百五十萬噸								
神戸港出入船舶	一千萬噸								
門司港出入船舶	九百萬噸								
石炭產額	四千二百萬噸								
銅產額	二百萬噸								

訂修外國新地理 下卷

第四編 亞弗利加洲

AFRICA

第一章 總論

人口約一億六千萬

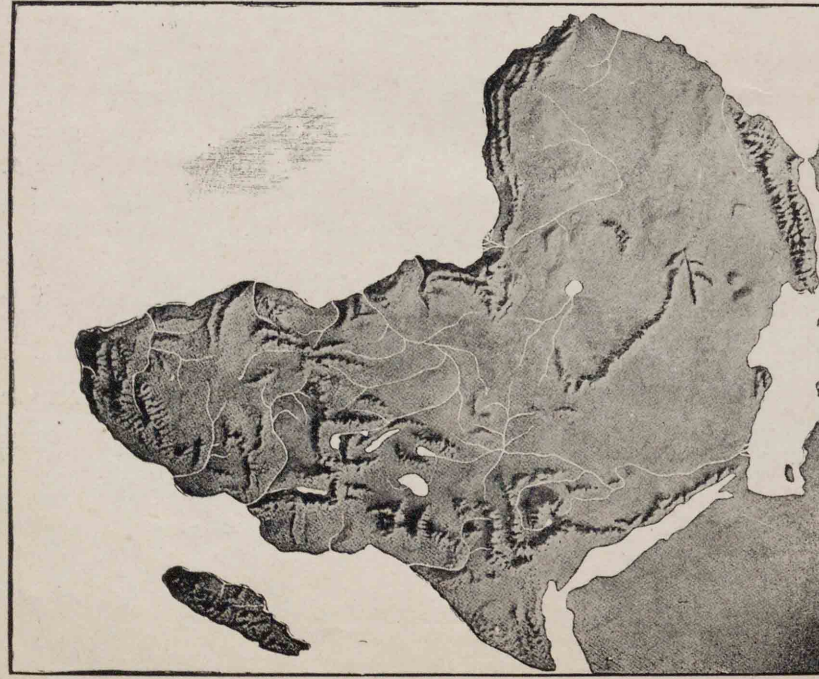
境域 本洲は、東半球の南西部にあり。北東の一隅、スエズ地峽によりて、辛うじて、アジア洲に連なり、面積二百萬方里。アジア洲に次ぐべき大陸なり。沿岸は、屈曲甚だ少なく、島嶼稀にして、海岸線の延長、各大洲の最下位にあり。而して、北は地中海を隔て、歐洲に對し、東は、紅海・印度洋に面し、西は、大

六盟館編輯所編纂

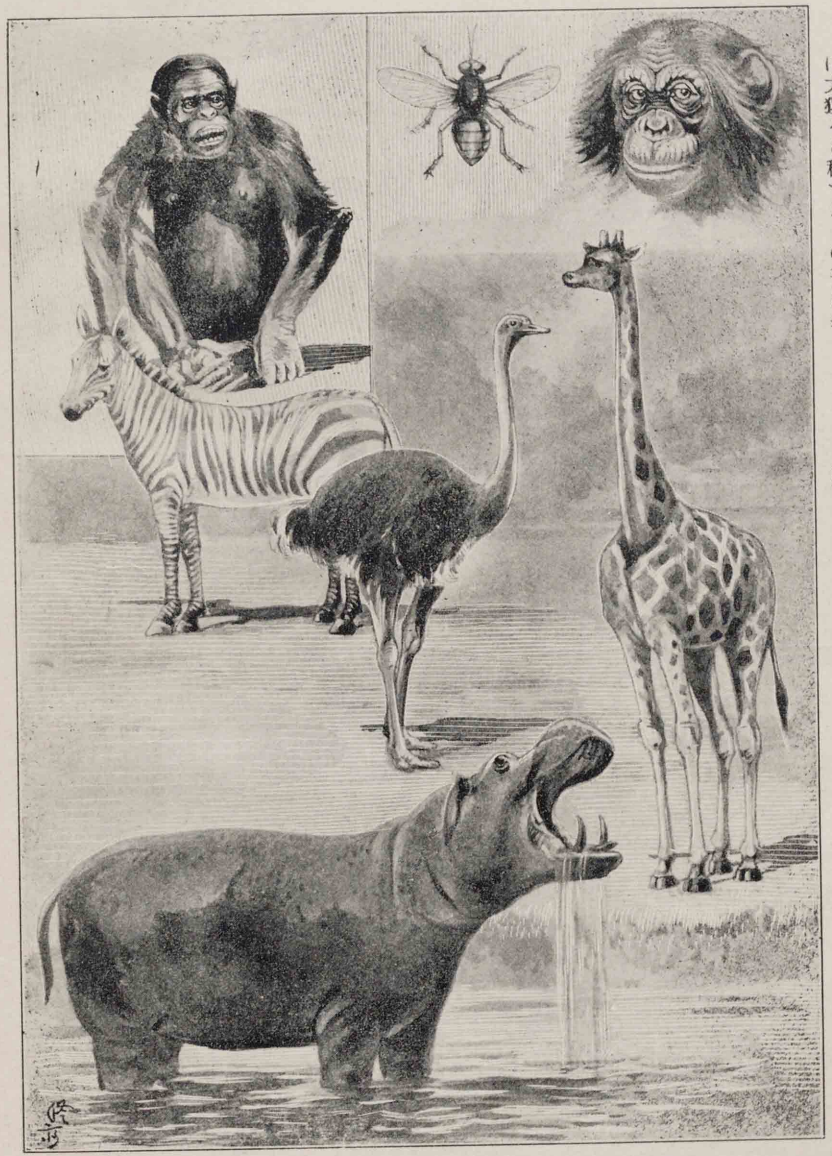
アフリカ洲 東西断面圖  
 10000尺  
 5

西洋と、ギネア灣とに瀕せり。  
**地勢** 常に沿岸の出入のみならず、内陸の起伏亦極めて單調にして、一大高原をなし、山脈、臺地、四邊を圍めり。北西には、アトラス山脈連亘し、ギネア灣には併走せる西岸山脈あり、南部には、ドラケンベルグありて、北東アビシニア高原より、東部陷没地帯に沿うて南走せる火山性の山岳、臺地と相會せり。内地は、以上の周邊高地によりて、海洋と隔離せらるゝにより北にサハラ、南にカラハリの大沙漠あり。されど、其の中間は、酷熱にして、雨多く、熱帶性の大森林鬱茂せり。  
**水誌** 河流は、地中海面にニール、印度洋面にザンベジ、大西洋面にニジェル、コンゴ等あれども、概ね、急湍

河流の水量は、地質及び氣候に原因す。河は流域の廣きと世界第二にして、水量多し。



〔圖解〕 チンパンジー 俗に黒猩猩と稱するものなり シラフ 高さ二丈最高の獸類にして皮毛に斑紋あり  
 ツエツエ 密蜂と色相同じく人畜を害する毒蜂なり 駝鳥 最大の禽類にして乾燥の地に住するものなり  
 も南アフリカにては盛に之れを飼養す羽毛を裝飾に用ひられ肉卵共に食ふべく又歐洲にては車を引かしむ 河  
 馬 アフリカの河湖に住み馬よりも寧ろ牛に似て牛よりも大なり毛は黒褐色にして皮は鞭となる ゴリラ 俗  
 に大猩猩と稱するもの毛は黒し セブラ 驢より稍大にして斑紋あり獸類中最美と稱せらる



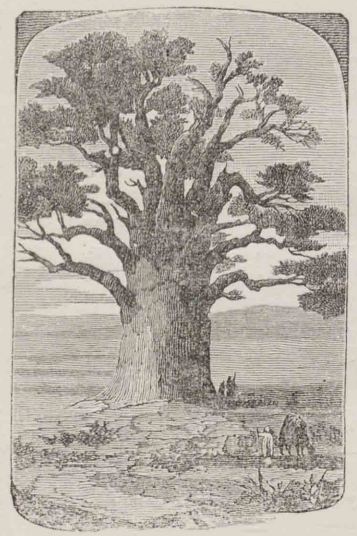
ラゴ ラセ 馬河 鳥駝 エツエツ パンチ フラジ

\*面積略、五千方里ありて世界第二の淡水湖なり

部の熱帯は本洲西  
 さは四丈を越ゆる  
 さは十丈に達する  
 もの多し材は柔か  
 きも尚ほ用ふべし  
 皮は繩とし實は時  
 に直徑二尺のもの  
 あり食料に供せら  
 れ葉及び花も亦利  
 用の途ありと云ふ

瀑布多く、且つ水量少なし。湖沼は、大なるもの多く、ピクト  
 リア・ヌ・ヤン・ザ・タン・ガン・イ・カ・ヌ・ヤ・サは、東部陷没地帯に沿ひ  
 VICTORIA NIANZA TANGANIKA NIASSA(NIASSA)  
 無口のチアデは、略、中央にあり。  
 CHADTSADE

氣候・天産



アバオバ

大部は、熱帯にあるが故に、氣候概ね、酷熱なり  
 殊に、赤道附近は、雨量多く、大  
 氣濕潤を極め、バオバブ・マン  
 グローブ・油椰子等、熱帯性の  
 植物著しく繁茂す。然れども  
 其の南北兩帶は、地形と風向  
 との関係上、大氣乾燥して、無雨不毛の大沙漠を現出せり。而  
 して、南北兩端は、氣候温暖にして、穀類・葡萄等能く生育せり。  
 動物には、巨大と猛悪なるものとに富めるを本洲の特色と



設問 濠太刺利亞とアフリカとの位置海岸地勢天産物を比較せよ

し、獅子・河馬・ゴリラ・チンパンジー・駱駝・豹ツラフ・斑馬・駝鳥・鱈魚  
GORILLA CHIMPANZEE ZIRAFFE ZEBRA

ツツツツ蠅等著し。  
TSETSE FLY

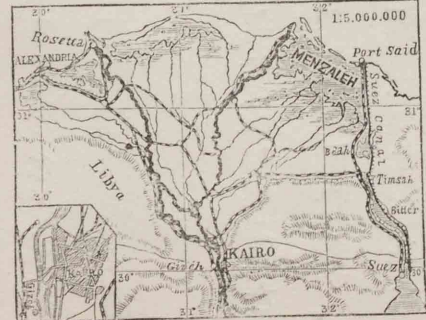
鑛物は、南部の金・金剛石、最も名あり。

第二章 地方誌

第一節 北部アフリカ

(甲) ニール地方(一) 埃及 及 (二) 埃及及蘇丹 (乙) 甲) ニール地方  
バルバリ地方

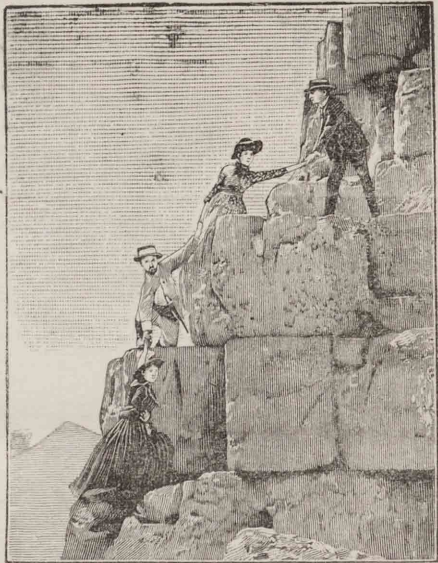
一 埃及EGYPT 及 ニール河の下流にあり。大部は、沙漠なれども、ニール河畔は、土地肥え棉花・小麥・煙草の産多く、綿は吾が國にも多く輸入せらる。ニール河は、定期の降雨あるアビシニア高原、及び、熱帶多雨地



近附府ロイカと流下の河ルーニ

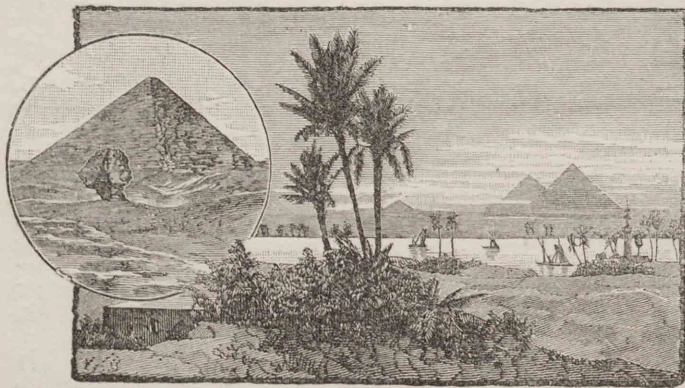
面積六萬六千方  
人口約一千萬

増水期毎年六月下旬迄  
旬より九月下旬迄  
にしてカイロに於て  
にける増水ニ三尺の  
に達すニール河の  
大堰はアッスアン  
の近傍にあり一  
〇年の建設に係



る登にドゥミラビ客旅

のビクトリアヌヤンザ湖に發し、地中海に注ぎて、一大三角洲をなす。延長約一千五百里、實に、世界第二の長流なり。毎年定期の洪水ありて、沃土を堆積するが故に、所謂、ニールの賜物たる、埃及の文華は、嘗て爰に開けたり。住民は、多數を占むるアラブ族と、古代より住する少數のエジプト族とにして、回



む望をドゥミラビて隔を河ルーニ

ピラミッドとスフィンクス

土耳其に年々貢獻するに近し

都 會  
カ  
アレク  
サンド  
ロ  
ス  
エ  
ボ  
ート  
サイ  
ド

\* 戈登將軍は英國の勢力を張らん爲めに遠征し此の地にマイジ(偽聖)の軍に包圍せられて戦死したり

教盛なり。政治 君主專政にして、名義上、土耳其の屬國なれども、其の實、財政、軍務等、主要の政權は、全く英國にあり。

都會 首府カイロは、アフリカ第一の都會にして、ニール

河畔にあり。對岸の金字塔・スフィンクス等の大紀念物は、人を

して、轉た、古埃及の繁榮を偲ばしむ。アレクサンドリアは、ア

レクサンデル大王の創建に係り、本洲第一の貿易港なり。蘇

士と、ボートサイドとは、スエズ運河の兩端にありて、東西の

航路に當り、吾が歐洲線の船舶此處に寄泊す。

二埃及蘇丹(東部) ニール河の上流地方にして、中部アフリ

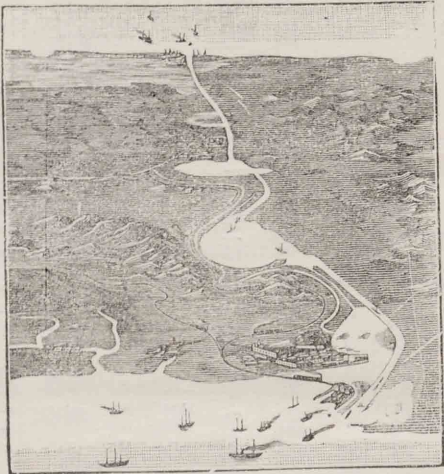
カに通ずる要地なり。埃及の總督、之れを統治すれども、實權

は英國にあり。首府ハルツームは、青白ニール河の會合點

にあり。當地方商業の中心にして、アフリカ縦貫鐵道(三千)の

ボートサイドよりの通信 (海野渡發)

前略 香港出發後、新嘉坡、坡南を経て、印度洋に差し掛り候處、南西季候風の齎せる霖雨降りしきり、平素、書籍にて、承知致し居り候も、今更の如く鬱陶しく感せられ候古倫母着の



河運ズエス

當時、我が國に棉花を輸出する有名なる孟買など、遊覽致し度存じ候ひしかども、歐洲航路の船舶にては其の義出來難く、直に蘇士に直航し、只今、ボートサイドに相着し候、同船者中には、蘇士より汽車の便を借り、當國の首府カイロに出で、ギゼーのピラミッドに登りて、榮華盛衰の跡を探るものありしかど、小生は之れを見合せ申し候。もはや、歐洲文明の地を踏むも、こゝ數日の内にありと勇み立ち居り候。

さて、蘇士運河は、埃及カイロ府駐在の佛國領事たりし、レセップスの計畫せしものに候。レセップスは、天性、剛毅果斷、世の冷評狐疑を意に介せず、諸國に熱心遊說せし結果、資金二億圓の蘇士萬國運河會社設立せられ、十個年(明治二年まで)の後、遂に竣功仕り候。斯くて歐洲諸港

より東洋に航するものは、航路に於て、五千海里を利すること、相成りしのみならず、亞弗利加迂廻の危険と冗費と日子とを省略し、特に、石炭の搭載量を減すべき利を得る儀に候。



レセプス

ボートサイドの埠頭に屹立する、レセプスの銅像を見んもの、誰れとて感謝の意を表せざるは無之候。運河は、長さ三六里（内サレン湖等の四湖深さは、僅に三〇尺内外に止まれば、先年富士艦通過を節、世人が我が海軍の操艦を稱揚せしも、無理ならずと存じ候。又幅の狭き處は、半町に足らずして、岸邊に下り得べき許りに候。船艦は、徐々に進行し、又所々の停船所に、他船を廻避しければ、通過に十四時を相要し候。此の附近にては、白布を被りて、駱駝に乗れる隊商、或は船客に物貰ひせんとして、岸邊を走る乞食など多く見受け、なか／＼の異觀に候。此の運河を年々通過する船艦は、無慮一九〇〇萬噸にして、英國最も多く、我が國の如きは、時々、の廻航軍艦を計上するも、僅々三〇萬噸内外に候。此の世界の大道を、成るべく多く利用すべきは、海國々民たるもの、心懸くべき事と存じ候。

精神一到事皆成 無水之間舟可行  
二十餘年疏鑿業 盡從烈氏寸心生

(南條博士)

一部、遠く地中海岸より、此の地に達せり。フアシヨダは、さきに、英佛兩遠征軍が勢力範圍を争ひて、兵戈を交へんとせし處なり。

三アビシニア ABYSSINIA 青ニール河の發源地にして、高山深谷の

山彙中に國す。故に、アフリカス、ウスと稱せらる。住民は、ア

ビシニア族多く、慄悍にして、變態せる基督教を奉ぜり。專

政君主國にして、近年、伊國の干涉を脱し、シヨアの酋長、全土

に重んぜらる。本域の北東に、伊領エレトリアあり。

(乙)バルバリ諸邦 BARBARY 一 トリポリ 二 チウニス  
三 アルジェリア 四 イロコ

域内の大部は、所謂バルバリ高地にして、アトラス山脈、其

の北西に連亘し、海岸は、氣候、溫和にして、地味、肥沃なれども

内地は、酷熱不毛の地多し。住民は、アラブ・バルバル兩族、及び

首府をアサズア  
バと云ふ  
ADISABEBA

ムルツクは隊商の集合地なり

面積約五萬七千方里  
人口五百二十萬

〔圖解〕  
アルファ草一名エ  
スマルト草はアル  
バリ諸邦特にアル  
ツエリア及び西班  
牙に産し製紙原料  
として主として英  
國に輸出せらる

其の雜種ムーアにして、回教行はる。

一 トリポリ (領土) MOOR 伊國の勢力大なり。首府

トリポリは、隊商の發着地にして繁華なり。

TRIPOLI 3  
(一八頁隊商  
通路圖參照)

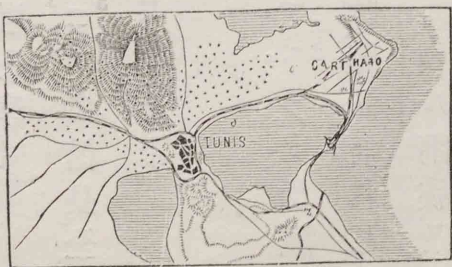
二 チュニス (佛國の保護國) 首府チュニスは、良港にし

て、其の北東に、カルタゴの遺跡あり。

CARTHAGO  
チュニス、ベルトは佛國海軍根據地にして良港なり。

三 アルジェリア (領佛)  
ALGERIA

佛國の領土中、最も重要にして、此の地の開拓に力め、葡萄酒、コルクの産出多く、又、アル



ゴタルカとスニッチ

面積約三萬七千方里  
人口約五百萬

マロッコ草は野生の山羊の皮革にし、て多く書籍の表紙に用ひらる。アラブ族が北部アラブを征定せし、見にかを現時サリカを内僞王類す。タリカを内僞王類す。起るも之を現王も實は武力を以て王位を奪したるなり。

フ草は、此の地の名産なり。首府をアルジェーと曰ふ。

四 摩洛哥 (MOROCCO) マロッコ草の産、世に名高し。回教の經典により

統御する君主國にして、佛國の勢力、最も大なり。近時、獨國、此

の國に野心を抱きしより、獨佛の國交、一時危急に逼りしが

列國會議によりて、漸く局を結びぬ。國王はマロッコ、メキネズ

フズ等の都府に轉住す。タンヂェルは、外交地にして、又、國內

設問 地中海沿岸の國名及び主要の商港を列舉せよ 第一の貿易港なり。

第二節 東部アフリカ

山地多くして、開拓の行はれたるもの甚だ乏しく、只だ、歐洲諸邦の分領するに過ぎず。

一 ソマリランド 亞丁灣と、印度洋との間にある一大半

島にして、英、佛、伊の三國に屬す。特に、佛領は、面積、小なれども

バブエルマンデブ海峽に臨み、JEBUTI (JUBUTI)チの良港ありて、英領亞  
 丁に對抗す。鐵道之れよりアビシニアに入れり。GUARDAFUIグアルダ  
 フイ岬の東方に、SOOTORAソコトラ島(英領)あり。

二、英領東部アフリカ 本洲第二の高峰ケニア、KENYA峙ち、ザン  
 ジバル島(獨領)には、古來、名高き同名の商港ありて、丁子を  
 輸出す。UGANDAウガンダは、保護地にして、MOMBASAモンバサより附近に鐵  
 道を通ず。

首府をダルエスサ  
 レムと云ふ

三、獨領東部アフリカ 二萬尺に近き本洲の最高峰キリ  
 マヌヂャロ聳ゆ。  
KILIMANDJARO

四、葡領東部アフリカ ZAMBESIザンベジ河中央を貫く。モザンビ  
 ク島には、古來有名なる同名の要津あり、同名の海峽に臨め  
 り。DELAGOAデラゴア灣内のLAURENCO MARQUESロレンソマルケスは、鐵道をトランス

パールの首府に通じ、南アフリカ北部の門戸をなせり。

第三節 南部アフリカ (甲) 英領 (乙) 獨領

山脈東部に亘りて、印度洋の濕風を遮るにより、南東より  
 北西に進むに従ひ、漸く雨量を減じ、遂にカラハリ沙漠とな  
 れり。故に内地の廣漠たる臺地は、主として牧畜行はれ、農業  
 は、殆ど南東の沿海に行はるゝのみ。住民は、アフリカ人種な  
 るカフール最も多數を占め、智力、他の蠻人に勝り、特に、人口の  
KAFERS増殖著しく、南亞の富源の開拓は、彼等の勞力に待つこと寡  
 なからず。白人は、歴史の關係上、蘭人最も多く、英人之れに次  
 ぐ。始め、此の地方に於ける白人の企業熱は、一に金と金剛石  
 とに集中したりしも、今や農牧の業、亦、盛に行はれ、富力の増  
 進著しく、購買力實に、五億圓以上に達し、英國に對しては、印

南亞の植民は實に  
 三百年前に開始せ  
 られ、現今尙は蘭人  
 四十餘萬、英人三十  
 餘萬を見るのみ、以  
 て如何に植民事業  
 の至難なるかを悟  
 るべし

最近産金二億七千  
 萬圓にして年々増  
 加せり

極東より南亞に先  
航せんと欲せば孟  
買の便に待つる要  
すの買便を待つる要

度に次ぐべき得意國たるに至れり。

(甲) 英領南部アフリカ



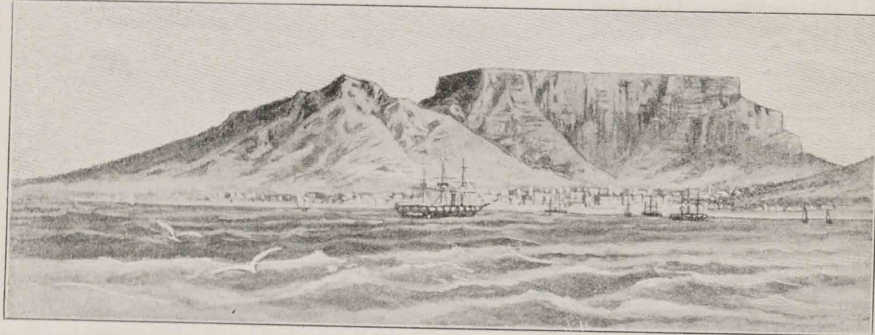
英領南部アフリカ

植民地

- 一ケ CAPE
- ニナ NATAL
- 三オレンジリバー ORANGE RIVER
- 四トランスバール TRANS VAAL
- 五バーストランド BASUTOLAND
- 六ベチアナランド保護地 BECHUANALAND
- 七ロデシア RHODESIA

ケープ植民地 本洲の最南に位し、南西にグ・ド・ホープ  
崎(喜望)突出せり。之れ、ケープの名稱の起因なり。金、金剛石、羊  
毛の産夥しく、駝鳥の飼養盛に行はる。首府ケープタウンは

十五世紀の末年葡  
人バスコダガマが  
印度に達するに  
き航路を発見せり



ケープタウンの(テーパー山)の形状を見よ



喜望峰附近

テーブル山を頂ひて  
ーブル灣に臨める良  
港にして、鐵道之れよ

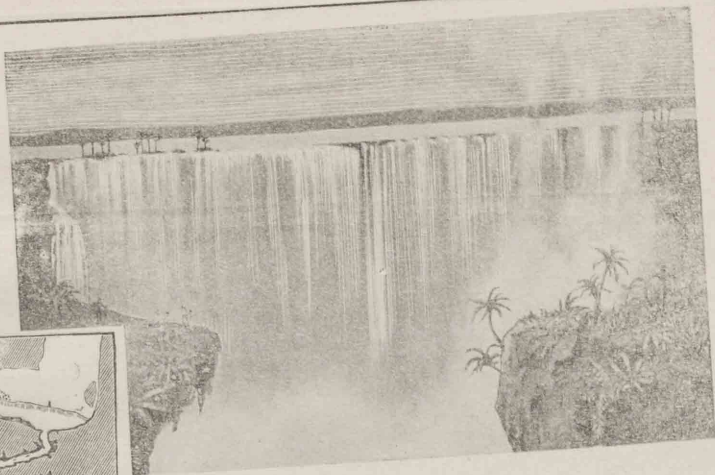
り遠く内地に通じ、沿道のキンバリー  
は、金剛石の産、世界に冠たり。ケープ  
タウンの南、一灣内のシモンは、軍港に  
して、エリザベス・イースト  
ロンドン、亦重要な商港た  
り。

ナタル植民地のナタル

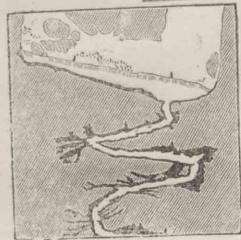
(バダ)は、要港なり。ロデシア

(ザンベ)は、英傑セシルローツ





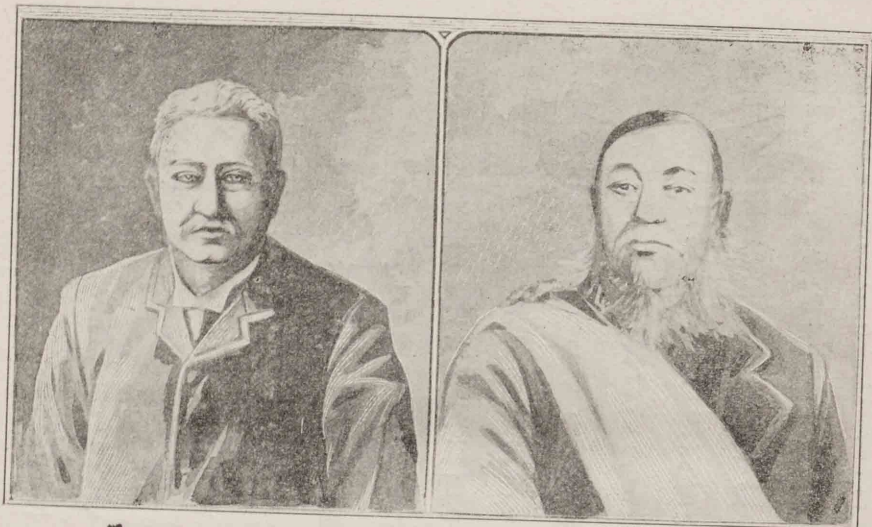
ビクトリア瀑布  
ザンベジ河の中流にありて  
其の壯大なることナイアガ  
ラ瀑布に次ぐ



の經營せし植民地にして、ザンベジ河中流の  
南北に位し、砂金を産す。英國南阿會社之れを  
管理せり。オラン、エ河以北の地域を占むる  
オレンジリバー植民地も、亦金剛石の産多し。  
ORANGE RIVER  
トランスバールは  
TRANSVAAL  
バル河以北、リン  
VAAL LIMPOPO  
ポ、河以南の地域  
にして、金の産多く  
ヨハネスブル  
JOHANNESBURG  
グを其の中心  
となす。又、牧畜  
行はれ、羊毛、牛



トotten部落



故セシルロー

故ロバートス大領

### セシルローツの傳

CECIL RHODES

ローツは、英國一牧師の子なり。十六歳の時、心臓  
病に犯されしかば、轉地療養をなさばやと、學業を  
廢して南アフリカのキンバリーなる、長兄の許に  
赴き、金剛石の採鑛に従事すること、一年内外なり  
しに、健康恢復せしのみならず、數多の資産をも作  
りぬ。爾後、夏期は、英國オクスフォード大學に學び、冬  
期は、南アフリカに赴けり。斯くすること八年にし  
て、大學を卒業し、資産も愈、殖えぬ。

二十八歳の時、ケープ植民地の代議士に選ばれ  
尋いで首相の榮位に陞りぬ。南阿の英領を膨脹せ  
しめて、ニール地方に於ける、英國の勢力に連絡せ  
しむべき、所謂アフリカ縦貫政策は、即ちローツの  
主張せし所なり。此の主張の實行につき、彼れの苦

心畫策せし所のもの、一二にして止まらず。

ザンベジ河の南北、即ちザンベジアは、ローツが獨力經營の結果遂に今日の如く開拓せられしなり。現今之れをロデシアと稱するは、即ち之れが爲めなり。

オレンジリバー植民地及びトランスバールの住民ボリア(BOHE)の義夫は、主として、十七世紀の中頃に、移住したる蘭人の子孫なり。初めケープ植民地にありしかど、英國の抑壓に堪へや

らで、バール河の南北に逃れて、建國したるなり。此の兩地は、金、金剛石などの産に富めるのみならず、縦貫政策の妨害物なれば、ローツは、之を征服せばやと欲しき。彼の英國南阿會社のゼームソン博士が、手兵五百を率ゐて、トランスバールに侵入し、却つて生擒せられし

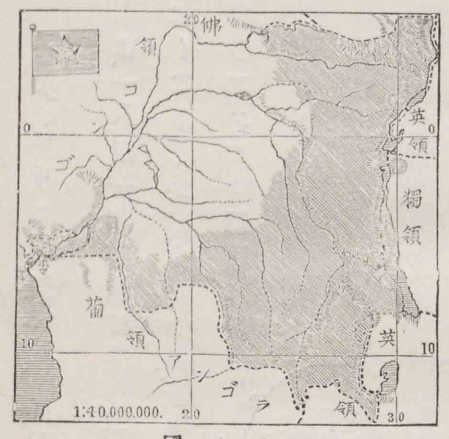
は、ローツの陰謀の失敗に歸せしものと稱せらる。明治三十二年、オト兩國の連合して、英國と兵戈を交ふるや、トランスバールの大統領クルーゲルは、ローツをキンバリーに圍み、多年の仇讐に報いんと欲し、賞金を懸けて、ローツの首を求めたりとかや。而して今や二國滅

亡して、縦貫政策は唯一の獨領を介在するのみとなりぬ。其の遺言に基き、二千萬圓の巨額は、オクスフォード大學の奨勵金として、寄贈せられたり。彼れは、終りに臨みて曰く「爲すべき事は多けれども、爲せしことは甚だ少なし」と。嗚呼此の人にして、尙ほ此言あるか。

心畫策せし所のもの、一二にして止まらず。ザンベジ河の南北、即ちザンベジアは、ローツが獨力經營の結果遂に今日の如く開拓せられしなり。現今之れをロデシアと稱するは、即ち之れが爲めなり。オレンジリバー植民地及びトランスバールの住民ボリア(BOHE)の義夫は、主として、十七世紀の中頃に、移住したる蘭人の子孫なり。初めケープ植民地にありしかど、英國の抑壓に堪へやらで、バール河の南北に逃れて、建國したるなり。此の兩地は、金、金剛石などの産に富めるのみならず、縦貫政策の妨害物なれば、ローツは、之を征服せばやと欲しき。彼の英國南阿會社のゼームソン博士が、手兵五百を率ゐて、トランスバールに侵入し、却つて生擒せられしは、ローツの陰謀の失敗に歸せしものと稱せらる。明治三十二年、オト兩國の連合して、英國と兵戈を交ふるや、トランスバールの大統領クルーゲルは、ローツをキンバリーに圍み、多年の仇讐に報いんと欲し、賞金を懸けて、ローツの首を求めたりとかや。而して今や二國滅亡して、縦貫政策は唯一の獨領を介在するのみとなりぬ。其の遺言に基き、二千萬圓の巨額は、オクスフォード大學の奨勵金として、寄贈せられたり。彼れは、終りに臨みて曰く「爲すべき事は多けれども、爲せしことは甚だ少なし」と。嗚呼此の人にして、尙ほ此言あるか。

〔圖解〕ホッテン  
トの獨領南阿に  
住し、歐洲人  
の化を受け、  
たる蠻人に  
中、衣服を  
畜を養ふこ  
る圖に其の  
風俗を示した  
のなり

面積十五萬方里  
人口 約三千萬  
油椰子は主に石鹼  
の原料となる



皮の産多し。英國は、苦戰の結果、此の兩域を併呑したり。  
(乙)獨領南西アフリカ オランジェ河とクネ、ネ河との間にあり、ホッテン、トット族の部落多し。

### 第四節 西部アフリカ

ギネア灣に沿へる地方の總稱にして、氣候温熱、疫癘人を襲ふ、之れを分ちて、下ギネア上ギネア、セネガンビアの三部となす。

(甲)下ギネア 葡領アンゴラ、佛領コンゴ、獨領カメルン等あれども、コンゴ自由國最も著名なり。  
公果自由國は、白耳義王を戴く一國にして、吾が國と通商條約を締結せり。護謨、油椰子、カッサバ、落花



スタンリーの探検と公果自由國の建國

スタンリーは、一八四一年英國に生れ、一九〇四年(明治三十七年)六三歳を以て歿せり。家固と赤貧洗ふが如くなりしかば、少かき時、歐米諸國に流浪して、有らゆる辛酸を味ひぬ。一八六六年、第三次のアフリカ探検に赴きたる、リビングストンの消息、久しく打ち絶えければ、其の安否を確かめばやと、當時關係せし紐育ヘラルド新聞社の命を含み、蘇士、印度、ザンジバルを経、バガモヨ(現今獨領東に上陸して、開黒アフリカの内地に進みぬ。熱高く雨多く、荆棘深く道を鎖し河馬嘶き、ツエ蠅飛べる蠻境に於て、従者は死し、馬は斃れ、身も亦屢、熱病に罹りたれども、スタンリーは、絶えて屈することなく、遂にタンガンイカ湖畔ウジジ(現今獨領東に於て、リビングストンに遭遇することを得たり。

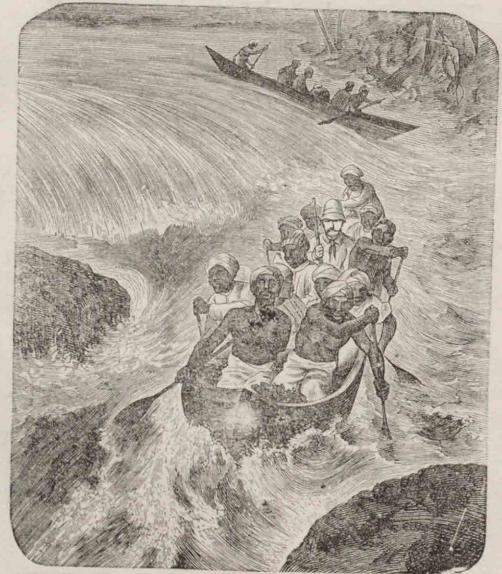


(左) リンタス (右) スタンリー

スタンリーは、一たび歸英せしも、リビングストンが遂に征途に病歿するや、其の遺業を紹介がんと決し、倫敦毎日電報及び紐育ヘラルド兩新聞社の探検員として、再びアフリカに赴き、三年の長日月を費して、東より西に、アフリカを横ぎり、コンゴ河口に出でたり。其の後白耳義王の旨を承け、コンゴ河を溯りて、其の流域を探検すること二度、行、數多の酋長を諭して、開拓の基礎を作れり。當時ギネア灣の沿岸地方は、歐洲諸國の競争、甚しかりければ、一八八五年の伯林會議となりぬ。此の列國會議の結果、コンゴ自由國を建て、之れを中立國となし、白耳義王を推して、其の主權者となしが、近時、同國は國王の希望を納れて之れが、合併を決行せり。



コンゴ河口附近



リンタス一人獨に木船を漕がしめ、コンゴ河を下る

(圖解) カッサバ  
木にして根より  
粉を採收す  
ギニア地方土人及  
びアメリカ人  
が食として  
からざるものなり

河口より百哩の處  
より二百五十哩の  
鐵道を通じ其の高  
差一千三百尺あり

生等は主要の産物なり。 **コンゴ**  
河は流域に於て世界第二の大河  
にして、實に、本國開進の血脈たり。  
急湍瀑布の多き下流には、鐵道を  
通じ、スタンリー池より、上流、約一  
千海里は、數多の汽船來往せり。首  
府ボ・マは、其の下流にあり。河口の **バナナ**  
あり。本國は、實に、スタンリーの探檢によりて創建せられた  
るなり。  
**(乙) 上ギネア・セネガンビア** 南北戦争の結果、解放せられ  
し黒人が、建設したるリベリア共和国の外は、皆、英佛獨葡等  
の諸國に屬す。



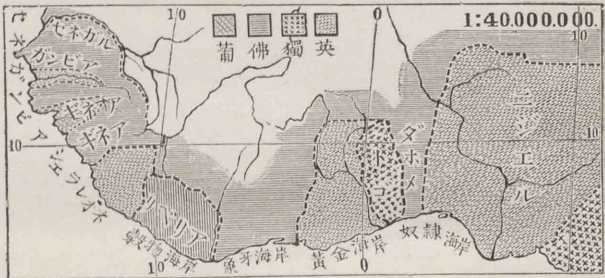
バサッカ

海岸に種々の名稱  
あるは舊時の輸出  
物に因む

面積四十萬方里

サハラは生物及び  
人種分布の限界を  
なせり

昼氣樓の起ること  
屢なり



アピंगाネセ・アネギ上

**上ギネア**は、英領ニジェール・佛領ダホメ・獨領トゴ  
ランド・英領黄金海岸・佛領象牙海岸・リベリア共和  
國(首府モンロウイア)・英領シエラレオネ首府フリ  
タウン)の七部に分れ、**セネガンビア**は、佛領ギネア  
葡領ギネア・英領ガンビア・佛領セネガルの四部に  
分る。

### 第五節 サハラ・スタン

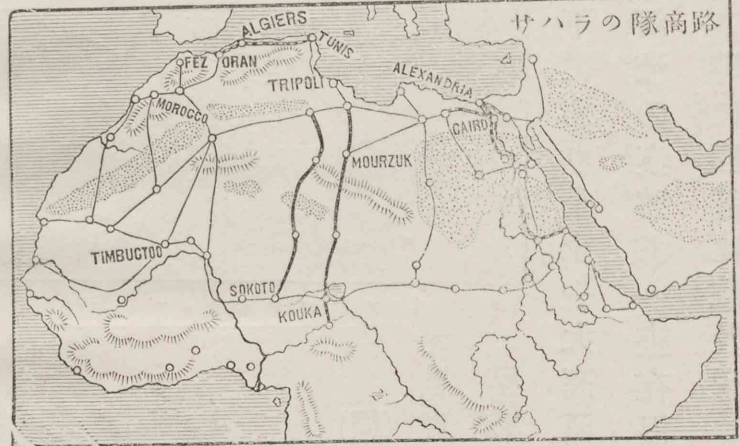
**(甲) サハラ** 東西一千二百里、南北四百  
里、實に、本洲五分の一の地積を占むる、世  
界第一の沙漠にして、大部は、佛國勢力の  
下にあり。全土一大高原にして、山嶽・丘陵、其の間に起伏し、間  
河流の痕跡あり。晝夜温度の差甚しく、旋風屢起りて、砂を捲  
き、時に四近に波及することあり。然れども隊商は、チニスト



地泉と漠沙のラハサ



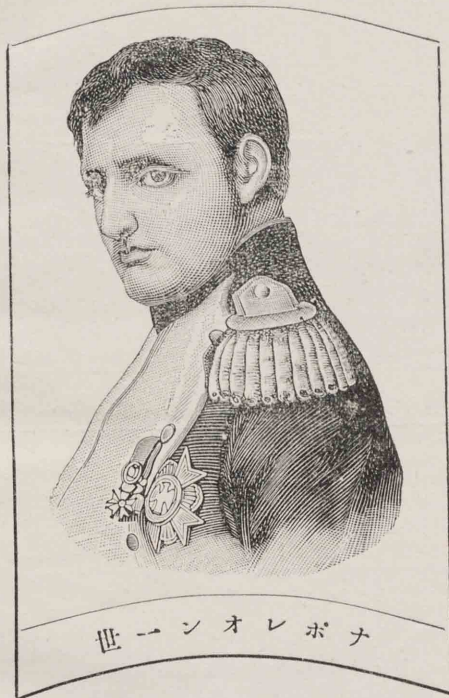
商隊の斷横ラハサ



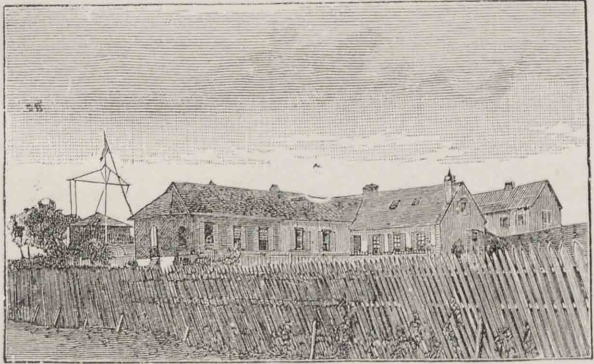
る隊商の集合地なり。内部に數個の黒人國あれども、皆、英佛

リポリ・アルジェー・マロ、コ等の諸市を發して、沙漠の船(駝)に乗り、良港(地泉)に寄港しつゝ、渺茫たる無水の海洋(沙漠)を横斷して蘇丹(スダン)に達す。

(乙) **蘇丹**(スダン) (黒人國の義、東部スダン地方に記せり) サハラ(SUDAN)の南にあり、酷熱にして雨多く、植物鬱茂せり。象牙・駝鳥毛・砂金の産多く、彼の隊商が、サハラ沙漠横過の困難を忍ぶは、實に此の産あればなり。又、今、尙ほ、奴隸の賣買行はる。チンブクツ、ソコト等は主要な



世一ンオレボナ



家住の所配ンオレボナ

獨等の關涉を受けざるはなく、殊に、佛國の勢力大なり。

第六節 近海島嶼

面積約三萬八千  
方里  
人口約二百七十  
萬

レニア大陸の遺跡あり但し其の名稱は本島の特産なる狐猿より來る

カナリア諸島中のフエロ島は曾て本初子午線の地として採用せられたることあり



狐猿

マダガスカル島 (領佛)

世界第四の大島にして、モサンビク

海峽を隔て、大陸と相對す。氣候炎熱にして、殊に、東岸は、貿易風の影響を受け、雨量多し。住民は、曾て馬來地方より移住し來りしと稱せらる、マライ族最も勢力あり。モーリシアス島 (領英) は、印度洋航路の衝に當り、砂糖の産多し。大西洋上の島々は、英・西・葡三國に屬し、スエズ運河開通までは、交通・貿易上、極めて重要なりき。就中、セントヘレナ島 (領英) は、英雄ナポレオン一世の終焉地として、又、カナリア諸

SANT HELENA  
CANARY (CANARIA)

島(西)は、カナリア島の原産地として名高く、マデイラ諸島(葡)に葡萄、アゾレス諸島(葡)に橙の産あり。

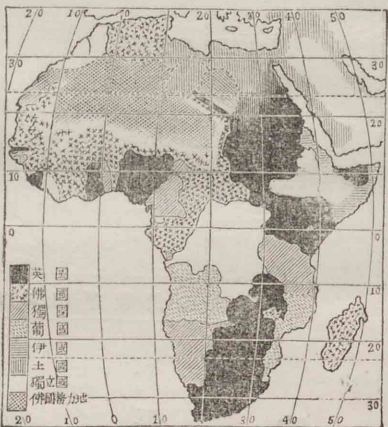
### 第三章 結論

住民 總數二億ありて、北部は、高加索人種のアラブ・エジプト・バルバル・アビシニア等の諸族、以南は、概ね、アフリカ人種(黒色種)に屬して、 hottentot、カフル等の諸族に分れ、最南部には、歐洲より移住せし蘭人・英人の子孫寡ならず。又マダガスカル島には、馬來人種住せり。アフリカ人種は、全人口の大部を占むれども、多くは、野蠻未開の民にして、信仰の程度甚だ低く、所謂、拜物教を信ずるもの多けれども、高加索人種は、智力大に優り、回教を奉ずるもの多し。

### 政治の上の要地

カ・イ・ロ・ム・ハ  
ボツ・リ・ム・ハ  
ス・リ・ム・ハ  
メ・リ・ム・ハ  
エ・キ・マ・ル・ツ  
エ・メ・ネ・マ・ル  
エ・エ・ネ・マ・ル  
ト・ウ・ル・ア・ン  
ボ・プ・レ・マ

各 國 領 地



### 沿革政治

北部は、夙に文明に赴きしと雖、内地は荆棘森林、途を鎖し、瘴癘・苦熱人を襲ひ、猛獸高く吼え、黒蠻毒箭を持するの處、長く暗黒大陸として、顧みられざりしが、近時リビングストーン・スタンリ

一等の探檢によりて、事情大に明瞭となりければ、漸次、歐洲諸強國の分割占領する處となり、今や完全なる獨立國少なく、殆ど、歐洲諸國の領地、又は、勢力範圍たらざるはなし。されども、其の一二を除けば、未だ開拓の業の充

### 設問

英領南アフリカ及びニール河域の門戸を列舉せよ。  
本洲に於ける交通上の要地を列舉せよ。

分に行はれたるものあらず。

第五編 南亞米利加洲  
SOUTH AMERICA

第一章 總論

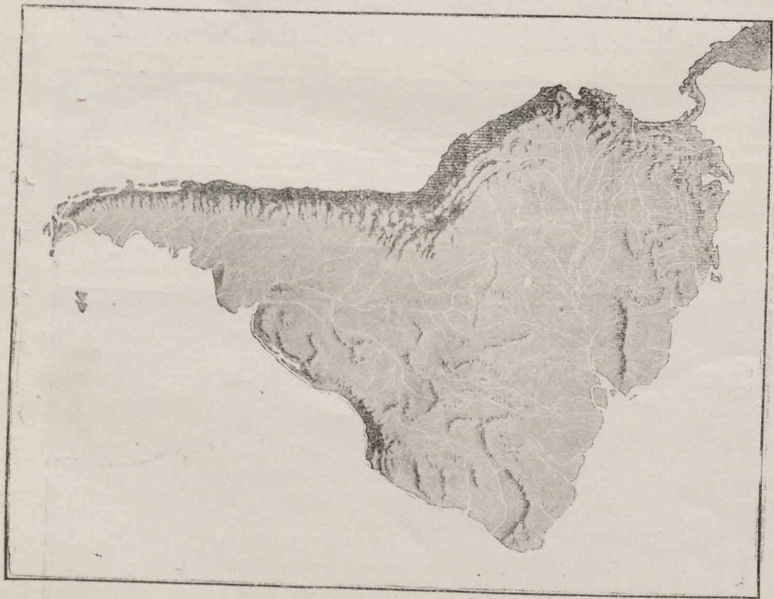


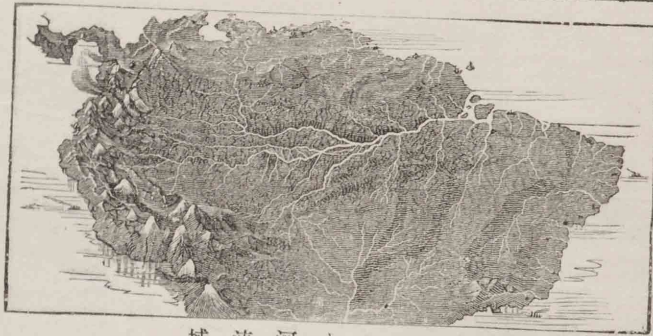
ステンア山頂起伏の狀

境域 新大陸の南東部に在る直角三角形の大陸にして、面積百二十五萬方里、世界第四の大陸なり。海岸は、西岸の南部に峽灣あるの外、屈曲・島嶼に乏しく、カリブ海に臨める北西岸の外は、太平洋・大西洋に圍まれ、南方は尖りて、將に、南極洋に逼らんとす。

地勢 西部は、兩米を貫通するコル

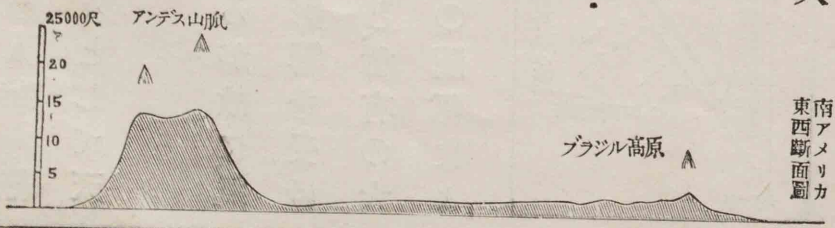
デレラ山系のアンデス山脈、南北に亘  
CORDILLERAS ANDES





域流河ナソマア

り、高原其の中に含まれ、太平洋東岸火山脈之れを縫へり。之れより東方ブラジル、グアイヤナ兩高地までは、渺茫たる大平原にして、本洲の三大河、オリノコ・アマゾン、ラプラタ之れを流れ、其の間に顯著なる分水界を缺き、オリノコアマゾン兩河は、支流(カシキ)によりて相連なれり。之等の河域は、氣候上の關係により、自ら、リアス、セルバス、パンバスの三平原に分たる。リアスは、濕期中雜草繁茂すれども、乾期一たび到れば、忽ち枯原となりて、禽獸其の之く處に迷ふ。セルバ



雨季のリアス



セルバス



パンバス

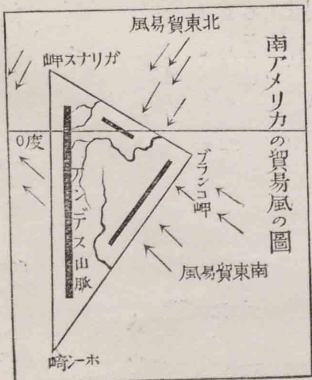


草のスパンプ

スは、酷熱多濕、森林鬱茂し、遠く人跡を絶つ。パンパスは、丈餘の芳草、離々として天然の好牧場たり。

氣候・天産 大部熱帯にあるが故に、氣

候概ね、高温なり。特に赤道四近は、北東貿易風の影響を受け雨量夥しく大氣濕潤を極め、地球上無比の巨流と、稀有の大森林とを生ぜり。其の南北兩帶は、地形と風向との關係により、リアノス・パンパスの二大草原を生じ又、アンデス山脈西側の中部は、最も乾燥にして、沙漠を現出す。獨り南部の温帶地方、及び其の他の高原地方は、概ね快適にして、最も健康に適せり。是れ、本



\*熱帯性の喬木にして、深紅色の染料となり、貴ばらる。又、混合により藍色を生ず。其の他の異色を

洲の都會の高原地方に發達せるもの多き所以なり。本洲特種の動物には、ジガー・ピューマ・ラマ・アルバ・コンドル・ボア植物には、マホガニー・ログウッド・シゴン・ゴナ等あり。

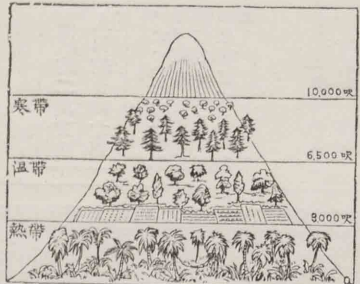
第二章 各國誌

第一節 西部諸國

アンデス山脈南北に縱走し、屢、地震、火山の災害あり。氣候は、土地の高度によりて、概ね、寒温熱の三帶に分れ、従つて、植物の種類に富めり。又南部の外、西岸は雨量甚だ少なし。

一、哥伦比亚

セルバスに屬する平野にして、珈琲の産あり。近時吾が國と



布分の物植と度高の部北南



旗國亞比倫哥



面積約六萬五千  
方里  
人口四百三十萬

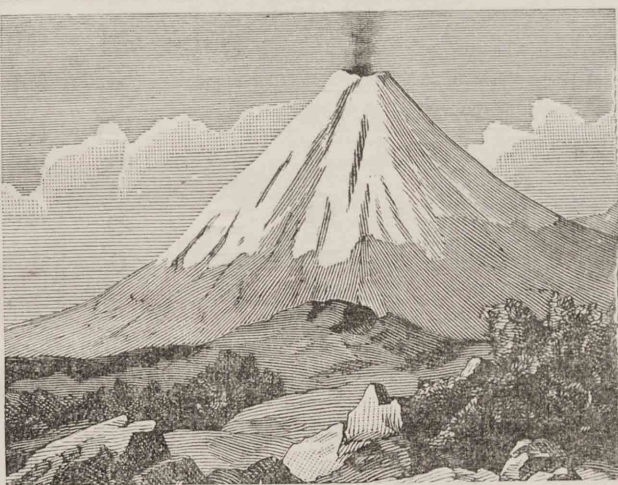
面積約二萬方里  
人口約百四十萬

パナマ帽は亞米利  
加印人ハ機織に  
似たるコルドロビ  
カの葉にて之れを  
製す

\*次編其哥の產業  
の挿畫を見よ

インカ帝  
國はアメ  
リカ印  
族の建國  
にして十

旗國露秘



山火シクバトコ

條約を結び。首府ボゴタは、九千尺の高地にあるが故に、熱

帯に位すれども、氣候温和なり。

二、**エクアドル** (赤道國) **チンボ**

**ラソコトバクシ** 等の火山多く

**秘露**と共に、**パナマ帽** **ココア** (又は

**カ**)の産、世に名高し。首府**キト**

は、赤道附近、一萬尺の高地に

在り、要津、**グアヤキル**に鐵道を

通ず。 **ガラバゴス** 諸島は、太平

洋上に浮べる火山島にして、蓋

シバナマ運河開通後は、世界交通の要衝たらん。

三、**秘露** は、**インカ** 帝國の故地にして、我が條約國の

ラマは普通に無峰  
駝と譯す貨物の運  
搬に使役せられ又  
其の毛はアルパカ  
の如く織物の原料  
となる

シアカーは身長凡  
そ五尺虎に似れど  
も毛皮美麗ならず

コンドルはアンデ  
ス山中に棲み飛力  
甚だ強き鷲鳥にし  
て稀に人畜を害す  
ることあり

ボアは長さ二丈に  
及ぶものあり人畜  
を絞殺するものな  
れども其の皮は以  
て裝飾に用ひらる



アボ 鱷 ーガッジ

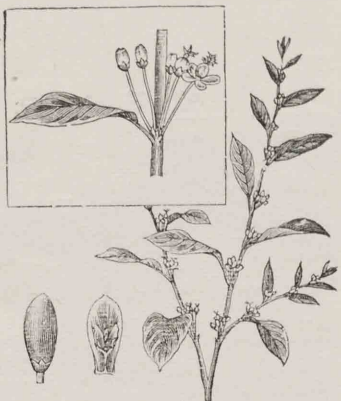
南米特産動物

〔圖解〕シンコナ  
常緑樹にして樹皮  
よりキナを採取す  
キナは必要なる薬  
品なり産地は南  
米なれども今は瓜  
哇及び印度の南部  
にても栽培せらる

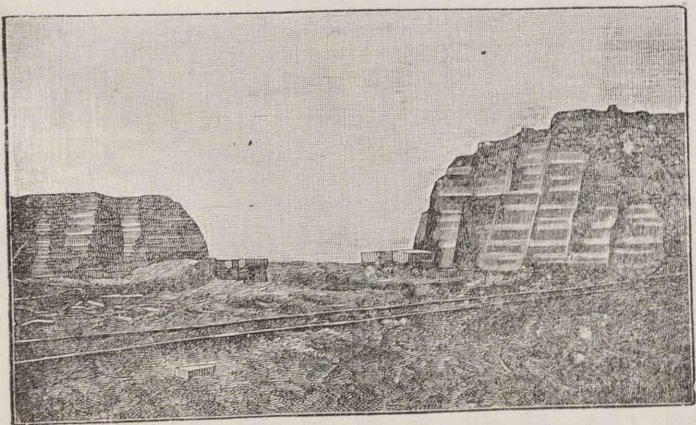
〔圖解〕 コカ  
秘露・ポリビアの  
特産なり土人其の  
葉を嚼むこと恰も  
人の喫煙するが如  
し近時其の葉より  
薬料コカインを採  
取し得べきことを  
發見せり

〔圖解〕 ケアン  
南米西岸の島嶼に  
産す鳥糞と譯する  
もの多きも其の質  
は海鳥海獸の糞と  
遺骸とより成り最  
も肥料に適す是れ  
雨少なき地方の事  
として肥料分の消  
失することなれば  
なり

シンコナ



コカ



ゲアノ層

六世紀に彼の西班  
牙の勇將ピサロ之  
れを征服せり

面積十二萬方里  
人口四百六十萬

アルパカは羊駝と  
譯す以て其の形を  
推知すべし毛長く  
光澤あり織物のア  
ルパカは實に之れ  
なり南米の高原地  
に於て盛に牧飼せ  
らるれども秘露國  
最も名高し

面積十二萬方里  
人口二百三十萬



マリ附近

一なり。東部は、高温多濕  
のセルバスなれども、山  
間の溪谷は、氣候爽快に

して、肥沃の耕地少なからず。ココア・パ  
ナマ帽の外、東部平地の護謨樹・シンコナ・  
コカ、高地の羊駝毛の産多し。銀・銅の産は



アルパカ

前途有望なるも、當國の一大富源たる鳥糞は、今や、其の産少  
なし。首府リマは、ピサロの建設したる都にして、鐵道によ  
りて、吾が南米航路の寄港地たるカリャオに通ず。

パスコは、世界最高の都會(海拔一萬四千尺)にして銀を産しクスコは、舊インカ帝  
國の首府にして遺跡多し。

四、ポリビア

秘露の境上、一萬二千尺の高處に、本洲最大

銀産額世界第四位  
因に吾が國は第七位



の主産物たる銀の産を以て名高し。

本國は明治一二年秘露と結びて、アタカマを占領せし爲め、智利と干戈を交へしが、戦敗れて、遂に海岸の領土を割讓し、國勢盛ならず、内地の交通甚だ不便なり。

旗國利智



### 五智利

細長きこと世界第一にして、海岸線の延長

も亦甚だ著しければ、國産輸出の便、非常に大なれども、只、良港に乏しきを恨みとす。中部境上に本洲の最高峰、世界最高火山なるアコンカグア(海拔二萬二千尺)あり。北部のアタカマ沙漠地方は、世界に名高き、チレ硝石・銅の産多く、イキケ(Iquique)は、之れ

面積約五萬方里  
人口約三百二十萬

硝石の年産額は一億六千萬圓に達し、其の輸出税は政府の歳入の六割を占

む硝石は主として肥料に供せられ、其の他硝酸・無煙火薬の原料に使用せらる。



道威の中山ステンア

が輸出港なり。中部に於ては、近年葡萄の栽培長足の進歩をなせり。首府をサンチアゴと云ふ。

近時新に、吾が公使館(兼管)を開設せり。



近附ゴアチンサ

鐵道は、之れより要津バルパライソ港に通じ、又、一方は、アンデス山脈一萬三千尺の高所を越えて、遠くアルヘンチナの首府に赴けり(汽車夜程)

チエラデルフエゴ島(火地の義にアルヘンチナに屬す)と大陸とを隔つるマガリエンズ海峽は、マガリエンズ

の始めて過ぎりし處なり。



近附峽海スリエリガマ

葡萄牙人マガリアエンスは一五一九年西國王の命を奉じ、大西洋を航し、マガリアエンス海峽を西して、太平洋に出で、マリアナ群島を経て、一五



スリエリガマ

二一年、フリビン群島に達せしも、土人に慘殺せられたり。然れども其の従者は虎口を逃れて、印度喜望峯を経て歸着しぬ。時に一五二二年なり。是れなん世界一週の嚆矢なる。

### 第二節 東部諸國

- 一、アルヘンチナ
- 二、ウルグアイ
- 三、パラグアイ
- 四、ブラジル
- 五、ベネズエラ
- 六、ガイアナ

グアイアナ、ブラジル兩高地の外は、概ね平原なり。南部は寒冷少雨なれども、其の他は概ね高温多湿にして、植物の發育世界に冠たり。

旗國丁然爾亞



一、**亞爾然丁** (ARGENTINE) 西部の山麓を除けば、低原又は、高度低き臺地をなし、北部は、氣候炎熱なる**グランチャコ**森林に

面積約十九萬方里  
人口約五百七十萬

亞爾然丁は我が條約國なり

白人は住民の九割  
九分を占む

パタゴニア族は身長平均約六尺にして、アツカ族(アフリカ中部に住する人類)は平均約四尺なり

して、中部は、適順なるバンバス大草原なり。ブラジルより來れるラプラタ河は、此の兩地を潤ほし、大西洋に朝す。河口は一大三角江を開き、水量豊かにして、遠く、上流まで汽船を通ずべし。南部は、寒冷無

雨の**パタゴニア**沙漠原

なり。白人は、**西班牙人**の子孫最も多く、イタリア人之れに次ぐ。土人**パタゴニア**族は、**アメリカ**印甸族に屬し、筋骨逞しく、身幹の長大なること、人類中第一なり。人口稀疎にして、開墾耕作の業未だ盛ならず。主業として、牧畜最も盛に、就中、馬

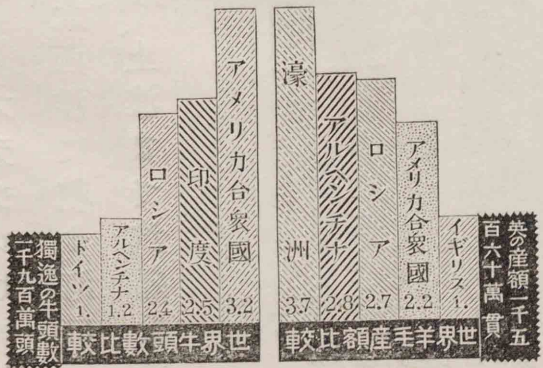


族カッアと族アニコタバ

交通の發達南米第一にして諸港の延長一萬二千哩に及ぶ

アエノスアイレスより米國及び歐洲の大西洋岸諸港に日乃至二十三日を要す  
極東と亞國との交通は歐洲迂回の航路の外に桑港・パナマを経てバルパライソに到り更に横斷鐵道又はマカリアエンス海峡經由の便船による線あり

匹の數は、露米に次ぎ、羊頭數は、世界の首位に居り、氷藏の羊肉・牛肉及び羊毛の輸出多く、又、小麥の産出少なからず。貿易額は、十億圓を超え、本洲中第一なり。蓋し、漸次耕地と人口との増加に伴ひ、前途の發達測るべからざるものあらん。ラブラタ河口の首府**ブエノスアイレス** (BIENOS AIRES) は、人口百萬を超え、實に、南半球第一の都會にして、畜産の取引最も盛大に、汽車・汽船の便極めて大なり。されど、東洋との航路未だ開けず、故に現今、吾が國より、此の地に渡航せんと欲せば、先づ迂回して、歐洲に到り、リスボン其の他の諸港を経て、南米航行の便船に待た



設問 アルヘンチナと英領南アフリカとの位置地勢・氣候・人口・種族・言語・産物を比較せよ

面積約一萬二千方里 人口約百〇四萬

面積約一萬六千方里 人口約六十三萬

(圖解) エルバマテは橙樹に似たる灌木にして其の葉は苦味強く飲料として保附の効ありアラツル國にも多く産す



茶イアグラバ

ざるを得ず。郵便線路亦これに依り、約四十日を要す。

當國は、肥沃の平野に富めども、人口稀疎なるを以て、移民特に、永住的移民を奨励せしかば、歐洲人の移住近年著しく増加し、毎年來住者と往住者との差十萬内外に達し、殊に伊太利人最も多し。フオー克蘭ド諸島(英領)は當國の南海上にあり、海鳥泥炭の産多し。

**ニ、ウルグアイ** (URUGUAY) ウルグアイ河を以て、アルヘンチナと境す。氣候適順にして、雨量多く、牧畜盛なり。首府モンテビデオ (MONTEVIDEO) は、ラブラタ河口に面し、肉類の輸出多し。

**三、パラグアイ** (PARAGUAY) 植物能く生育し、殊にエルバマテ(アイ茶)の産、世界に聞ゆ。首府アスンシオンは、パラグアイ河の左岸にありて、汽船の便あり。本國人は、茶と煙草とを過度に嗜好す。



力の必要を感ずること、年を逐うて益、甚し。然るに、從來盛に渡來せし、伊太利人は、甚だ不潔なるのみならず、多くは、出稼的移民にして、行住定りなく、耕主をして、不便を感せしむること、少なからざるを以て、之れに代るべき移民の必要起りぬ。而して他方にありては、獨國より、自由移民の流入甚だ多く、而も、伊國人の如く、蓄財成るや、直に、歸國するの弊なく、初めより、永住の目的を以て、其の業に従事するが故に、成効頗る顯著なるものあり。従つて、其の勢力は、隆々として侮るべからざるが故に、政府は、獨國の野心を疑ひ、之れが入國を欲せず、別に適當の移民を招致するの必要益、迫りぬ。此に於てか、我が移民は、大に歓迎せられ、有利の條件の下に、三千名を送ることとなり、近時既に渡航せしもの一千餘名に達しぬ。而して其の移民地なるサンパウロ州は、當國農業の中心なる南部諸州の一にして、面積一萬八千方里、大部熱帯に在れども、氣候適良にして、地味豊饒、珈琲の栽培盛大を極め、其の豊凶は、忽ち、世界珈琲の市場を支配するに足る。而して伊國人の最も成功せるサンパウロ市は、其の中心市場にして、サントスは、大輸出港なり。

横濱を距る喜望峯  
經由一萬一千五百  
海里

設問 アラジ  
とコンゴの位  
置、地勢、氣候、河  
流、産物を比較  
せよ

面積約三萬方里  
人口約四十一萬

英領首府 ショール  
蘭領首府 パラマ  
佛領首府 カイエ

首府リオデジアーネ

RIO DE JANEIRO 81

口は、同名の良灣に  
臨み、商港にして軍  
港を兼ね、珈琲、金剛

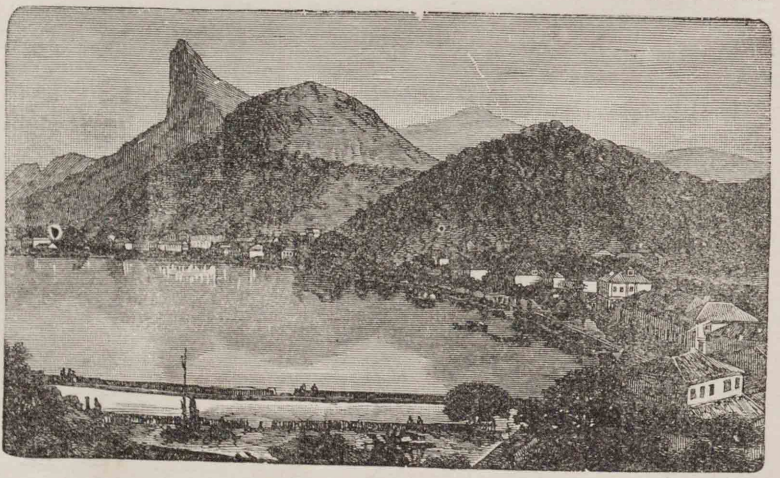


石の取引盛なり。我が公使館(ルア  
ナ兼轄)及び總領事館あり。サント  
スの外に、バヒア・ペルナンブコ、  
ベレム(二名)亦、要港にして、特に  
ベレムは、護謨の輸出盛なり。

五グイヤナ 同名の高地を

GUAYANA

負ひて、北に傾斜せり。英・蘭・佛三  
國に屬す。開拓未だ充分に行はれず。



置位の其と港口ネッヂアオリ

面積約六萬方里  
人口約二百六十萬

**六ベネスエラ** VENEZUELA  
大部リッポスに屬す。オリノコ河の三角洲は、不健康地にして、山地は開拓せられ、珈琲・ココアを名産とす。首府カラカスは、アンデス高地に位し、ラグアイラ港に鐵道を通ず。マラカイボは、同名の湖口にあり。  
CARACAS  
LA GUAYRA  
MARACAIBO

### 第三章 結論

**政治** 大約、三百餘年間、ブラジルは葡萄牙に、其の他は西班牙に屬せしかども、今や、概ね、獨立國となり、アメリカ合衆國を模倣して、立憲共和制に則りぬ。

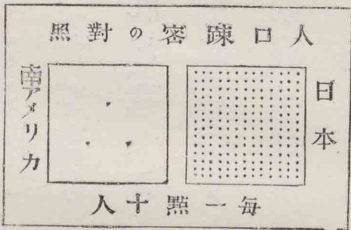
**住民** 本洲の面積は、歐洲に二倍すれども、人口は、其の十分の一(三十平方里に過ぎず)に過ぎずして、濠洲を

#### 地要の上治政

ボゴタ(コロンビア)、キト(エクアドル)、リマ(ペルー)、スクレ(ボリビア)、サンチゴ(チリ)、アエノスアイレス(アルゼンチン)、ナ・モンテビデオ(ウルグアイ)、アスンシオン(パラグアイ)、リオデジアーネロ(ブラジル)、カラカス(ベネスエラ)

面積は吾が國に四  
十倍すれども人口  
は四分の三のみ

〔圖解〕一方里に於ける人口疎密の比較なり。但し臺灣・南國の太な計算せず。



南米の吾が條約國の如く、近時アラビヤの移住を歓迎するもの多し。如く、近時アラビヤの移住を歓迎するもの多し。如く、近時アラビヤの移住を歓迎するもの多し。

除けば、各大洲中、最も稀薄なり。之れ、本洲が無窮の富源を有するにも拘らず、各種の産業未だ赫耀たる進歩をなさざる一大原因にあらずや。されば、各國、何れも、移植民の來住を希はざるはなく、特に、吾が條約國たる、ブラジル・アルヘンチナ・チレ・ペルーの如きは、人口の増殖を以て、最も主要の政策となし、移植民の勧誘に、苦心焦慮せるもの、如し。されど、勞銀など、白人の移植民を容るゝの程度に達せざるを以て、彼のブラジル・アルヘンチナに於て、獨伊人の來住稍、人目を引くの外、一般に、頗る寂寥の感なき能はず。されど、本洲の前途は、世界の最も注目する處にして、特に、歐米諸國の資本を投入せるもの、頗る、巨額に達せり。人



種は、舊土人なる亞米利加印甸、及び之れと白人との雜種なるメスチゾの兩族最も多し。白人は、歴史の關係上、西・葡兩國人の子孫最も多く、従つて、西・葡兩國語は、天主教と共に全土に普及せり。

**交通** 河流多く、鐵道漸次延長すれども、未だ内地の交通便ならず。航路は、主として、歐洲人の經營にして、大西洋面に稍發達せるも、太平洋面は然らず。近時吾が東洋汽船會社は一たび、南米航路を開始せしも、現今故ありて廢航したり。されど、我が貨物は從來他國より、間接に輸入せられ、大に好評を博しつゝあれば、我が國の貿易交通は、本洲に向つて、大に發展せざるべからず。

**産業**

本洲は、晝尙ほ暗き密林ありて、各種の植物、おほむ

近時吾が政府は一  
汽船會社に保護金  
を下附して南米航  
路を開始せんとす

地要の上業實

グ アヤキル・カリアガ・パスコ・  
ボトシイキケ・バルパライソ・  
アエノスアイレス・モンテビ  
デオリアガデシアネロ・レムパ  
ロア・メルナンアコ・サントス・  
ラグアイラ・マラカイボ  
△は交通上の要地

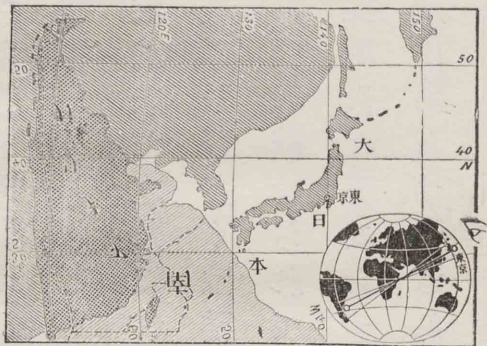
ね産せざるはなしと雖、現時にありては、僅に、護謨・コカ・シン  
コナ等を採用するあるのみ。世界無雙の大草原は、天然の好  
牧場を與ふれども、牧畜の知識未だ進歩せざるが故に、其の  
収益未だ之れに伴はざるぞ是非もなき。農耕に適すべき肥  
沃の平野、多くは委棄して顧みられず。各種の鑛物空しく地  
下に埋藏せられて、僅に、金・銀・硝石・金剛石等二三の鑛物の外  
採掘未だ盛ならず。以上は、是れ實に、本洲に於ける實業の現  
狀にあらずや。されど、漸次、人口増殖し、外資輸入し、交通機關  
發達せば、之等の富源の開發せらるべきは、理  
の當に然るべき處にして、前途の發展、眞に豫  
測すべからざるものあらん。嗚呼人間、到る處  
に青山あり。多望の未來を有する本洲は、之れ

設問

南アメリカ洲とアフリカ洲との位置・海岸楕形出入・島嶼・地勢・河湖分布・水利・政治を比較せよ。

の新樂郷となすべき地にあらずや。

即ち、我が同胞

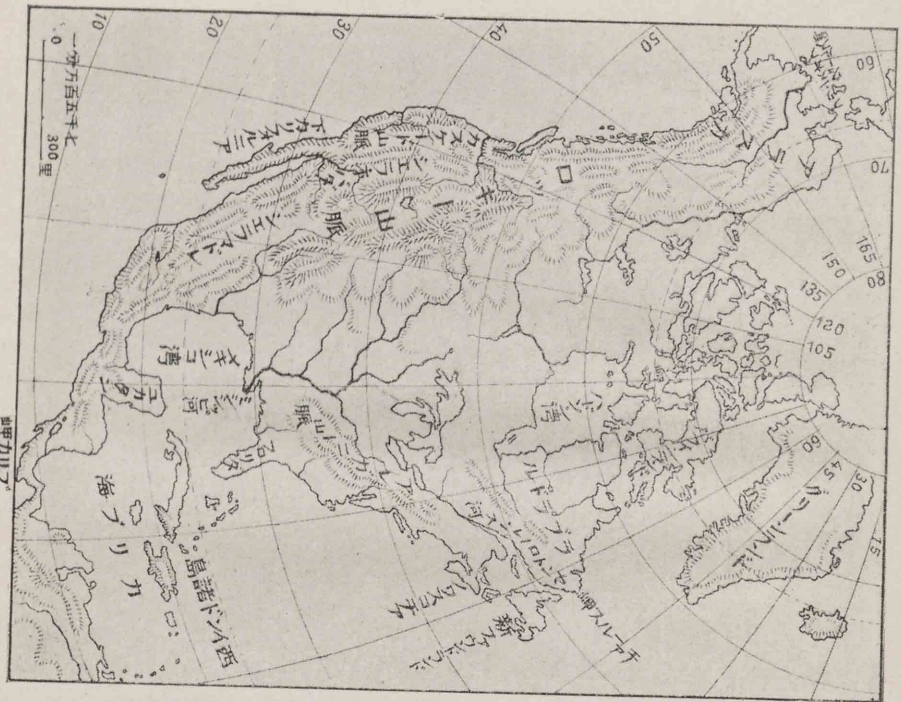


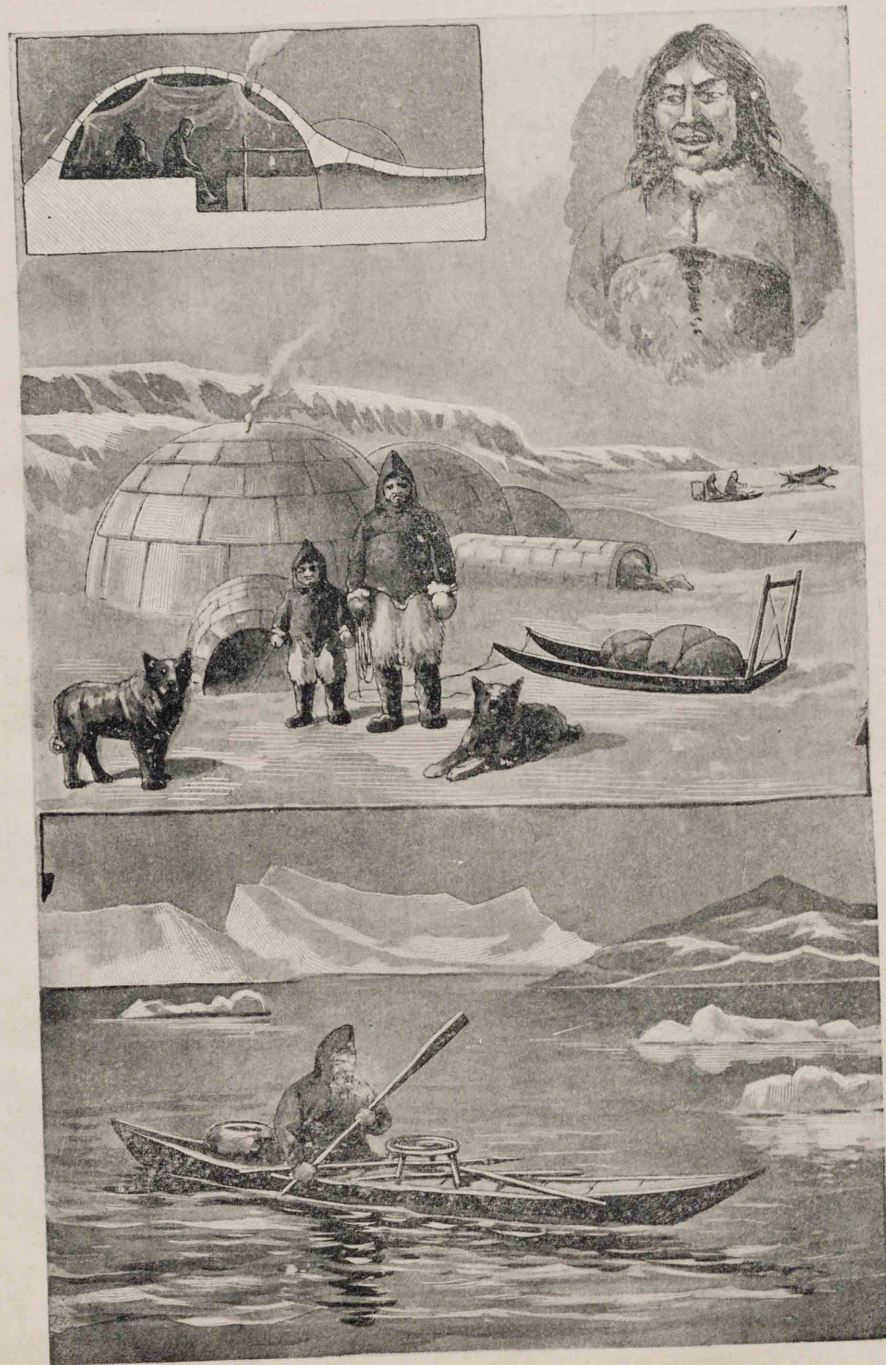
我が大日本帝國より地球の中心を通じて見たる土地即ち我が國の對蹠點は何處なるか。

對蹠の兩地は相互に晝夜の時刻を異にするのみならず、熱帶以外にありては全く季節をも異にす。

東京の對蹠點はウルグアイの東方海上、新領土南樺太の對蹠點はパタゴニアの遙か東方の大西洋上にして、臺灣はパラグアイと表裏相合す。上圖は則ち此の關係を現はしたるものなり。

南米の顛倒して映れるは何故なるか、上圖右方地球透視の狀を見て之を判知せよ。





態 狀 活 生 の 其 と 族 | モ ス キ エ

## 第六編 北亞米利加洲

NORTH AMERICA

### 第一章 總論

境域 西半球の北部に位する直角三角形の大陸にして南方に狹まり、**パナマ**地峽となりて、**南アメリカ洲**に連なり面積、**アフリカ**より著しく狭く、百四十萬方里にして、大陸中第三位にあり。

海岸 北極洋岸は、屈曲著しく、殊に、周圍面積不明の島嶼夥しく、所謂北アメリカの多島海をなし、**バドソン**灣口の**バフィンランド**及び**グリトランド**の二島、最も大なり。

**グリーンランド**は、世界第一の大島にして、大部寒帯にあり、終年融解せざる積雪、氷河となりて流落す。是れ近海に、冰山多き所

島 嶼  
 北アラスカ半島  
 下カリフォルニア半島  
 ニアスカ半島  
 ハアラスカ半島  
 フロリダ半島  
 ユカタン半島  
 ニアスカ半島  
 ハアラスカ半島  
 島 嶼  
 アレウト諸島  
 ラブラドル半島  
 島 嶼  
 新ファウランド島  
 西印度諸島  
 パンクレー島  
 島 嶼  
 新ファウランド島  
 西印度諸島  
 パンクレー島  
 島 嶼  
 新ファウランド島  
 西印度諸島  
 パンクレー島

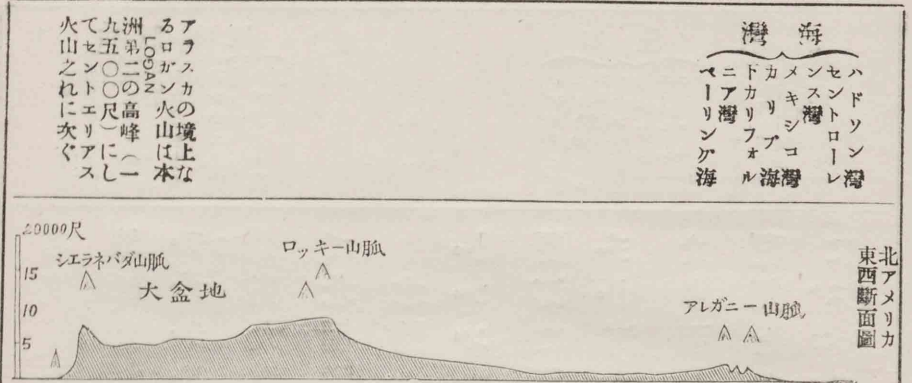
少數の 에스キモ、族住居す。



以なり。東岸はグリ、ンラン、ド寒流、南下すれども、西岸は、メキシコ灣流の支派北上するが故に、氣候稍、温和にして

大西洋岸も、亦、屈曲少なからず。北部にはラブラドル、ノバスコチアの二半島、新ファウランド島と共に、セントローレンス灣を圍み、以南ハッチェラス岬との間は、最も、屈曲に富む。之れ、歐人の先づ、此の地方に開拓を試みし一因なり。南部には、フロリダ、ユカタンの二半島、メキシコ灣を扼せり。其の灣口より、南東に亘りて、カリブ海を抱けるものを西インド諸島となす。

海 灣  
 ハドソン海  
 セントローレンス海  
 メキシコ海  
 カリフォルニア海  
 ニアスカ海  
 ハアラスカ海



太平洋面には、大屈曲、特に少なく、アラスカ半島と、カリフォルニア灣を抱ける下カリフォルニア半島とあるのみ。島嶼も、また、少なく、ベーリング海の南を限れるアレウト諸島と、最大島なるバンクトーバ島と著し。

地勢 本洲は、地勢上、中央平原と、東西兩高地とに大別せらる。西高地は、コルデレラ山系に屬し、太平洋面に急斜す。落機山脈は、其の西方なるカスケード、シエラネバダ、シエラマドレの諸山脈と共に、高臺を挾めり。太平洋東岸火山脈此の高地を貫き、北方アレウト諸島を経て、太平洋西岸火山脈に連なり。アラスカの中部なるマッキンレー火山最も

山脈 原高  
 カスケード山脈  
 シエラネバダ山脈  
 シエラマドレ山脈  
 アレガニー山脈  
 ラブラドル高原

河 流  
 ミシシッピ河  
 セントローレンス河  
 マケンジー河  
 ネルソン河  
 コロラド河  
 ユーコン河

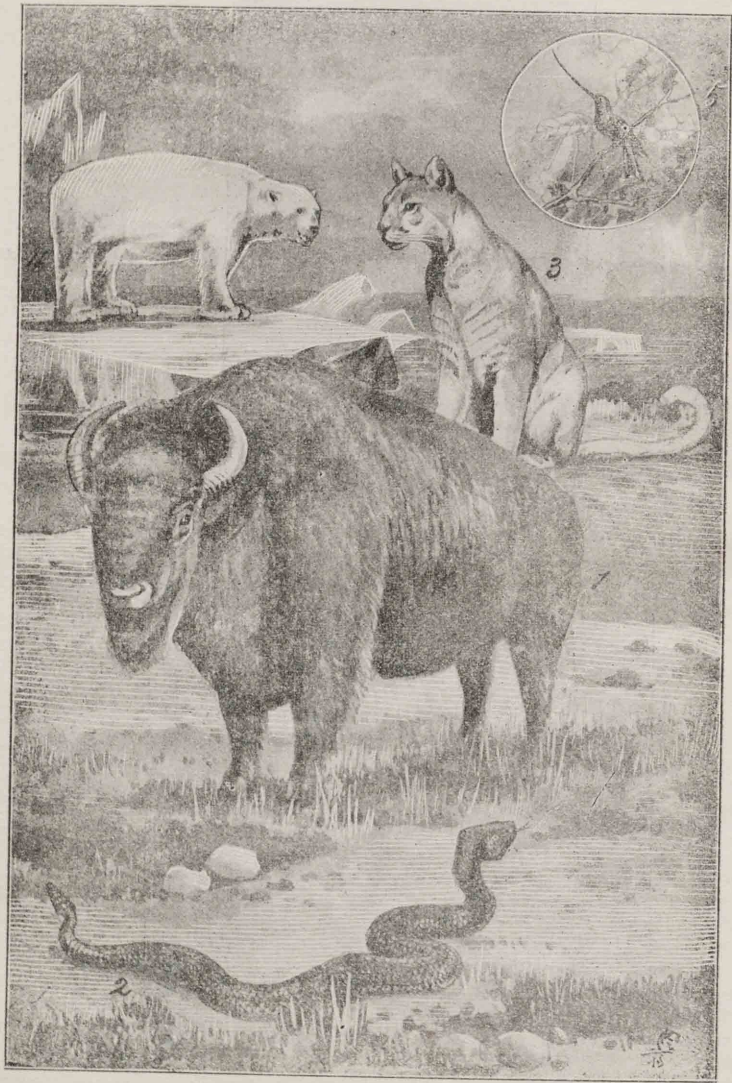
湖 沼  
 スペリオル湖  
 ミシガン湖  
 ヒューロン湖  
 オンタリオ湖

名高く、高さ二萬尺以上にして、本洲第一の高峰なり。此の高地は、良材と、金銀鑛に富み、近く、開拓を誘致せり。東高地はラブラドル高原と、アレガニー山脈とより成り、西高地の如く高大ならず。兩高地の間は、即ち、渺茫たる大平原にして、北極洋より、メキシコ灣に達せり。

水誌 本洲の河流中、最も著大なるは、ミシシッピセントロレンスの二河にして、其の利用の廣大なること、歐洲の諸要河に等しく、共に、大西洋に朝す。其の他、北極洋面のマケンジー河、ネルソン河、太平洋面のユーコン河、コロラド河、亦、大なり。而して湖沼の多きこと、六大洲中第一にして、且つ、其の利用と効果との偉大なる、眞に、湖沼大陸の名稱に背かず。特にスペリオル、ミシガン、ヒューロン、エリー、オンタリオ五大湖

北米特産の動物

〔圖解〕  
 1 野牛 本洲最大の哺乳獸にして肉は美味皮及び毛亦用ふべし長さ大凡二間鬣と角を有す  
 2 響尾蛇 長さ一間に足らざれども非常に毒を有す尾端に二十枚内外の鱗片接續して一種の音を發し百尺を隔つるも尙ほ聞くことを得  
 3 ビューマ 又はクグアアは新世界の獅子にして鬣を有せず長さ約三尺大さ豹に同じく木に攀づべし南米にも之れを産す  
 4 蜂雀 鳥類中の最も小なるものにして其の大きさ人の母指に及ばざるものあり。嘴は管状を呈して長く花蜜を吸ふに適す飛翔極めて疾く翼を動かすこと恰も蜂の如し





族甸印のカリメア北



落部の族ンアヂンイカリメア北

最も著名にして、其の水相連なりて、恰も内海に似たり。

**氣候・天産** 歐洲に比すれば、寒冷にして、殊に、北極洋島には、地球上最寒地の一あり。中央平原は、夏時の南風、冬期の北風を遮るべき山脈なきを以て、寒暑の差甚だし。而して、太平洋岸は、日本海流と南西風との影響を受くるが故に、ラブラドル寒流に洗はるゝ東岸よりも著しく温和なり。雨量は、西岸の中部と、南東岸に最も多し。

本大陸は、舊世界と隔絶せるにより、特有の生物少なからず。動物には、白熊・野牛・響尾蛇・蜂雀・ビーマ（一名アネ子）等あり。植物には、原生の玉蜀黍・烟草・馬鈴薯等あれども、又、麥類・甘蔗・綿

設問

一 歐洲の大西洋面と北米の太平洋面との地勢、海岸、氣候を比較對照せよ。  
二 南北兩米の海岸、概形、出入、島嶼、山脈及び平原の配置、河流の方向を比較せよ。

及び各種の家畜は、舊世界よ

り移植せられて、滿地を掩へり。鑛物は、金・銀・銅・鐵・石炭・石油等の産出莫大なり。

### 第二章 各國誌

#### 第一節 中央亞米利加

CENTRAL AMERICA

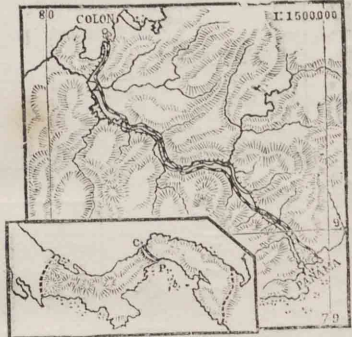
太平洋とカリブ海との間に在る、狹長なる地域にして、全部熱帯に位し、暑氣強く雨多し。地勢は、火山に富める高原にして、地震の災害屢起る。産物は、珈琲・護謨・バナナ・ココア等を産す。住民は、アメリカ印甸・メスチゾ(西印兩族の雜種)の兩族最も多く、西班牙語と天主教と一般に行はる。元、西班牙の植民地なりしが、今や左の六共和國・一植民地となれり。何れも内政整はず、國勢微々として振はず。



國名	首府	面積	人口
パナマ PANAMA	パナマ PANAMA	六〇〇〇 <small>方里</small>	四〇 <small>萬</small>
コスタリカ COSTARICA	サンホセ SAN JOSE	三〇〇〇	三四
ニカラガ NICARAGUA	マナガ MANAGUA	八〇〇〇	三八
サルバドル SALVADOR	サンサルバドル SAN SALVADOR	一一〇〇	一〇〇
ホンデュラス HONDURAS	テグシガルバ TEGUCIGALPA	八〇〇〇	五〇
グアテマラ GUATEMALA	新グアテマラ NEW GUATEMALA	八〇〇〇	一八四
英領ホンデュラス BRITISH HONDURAS	ベリゼ BELIZE	一三〇〇	四

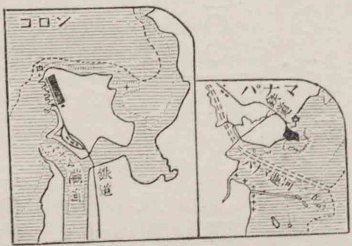
巴拿馬 首府パナマと大西洋面のコロン(一名アシピワ)との間に鐵道を通ぜり。パナマ運河は、此の鐵道と并走するものにして、竣功の日は、世界の交通貿易、將た、軍事に及ぼす影響、極めて大なるものあらん。

ニカラガ運河は  
カラガ運河に  
サラガ運河に  
カラン湖に  
カラン湖に  
サラン湖に  
カラン湖に  
ニカラガ運河は  
中しなすカニ  
てれらラカ  
目もアラフ  
下故に湖ア  
工事成功な  
中せ短な河  
止す距離ニ



河運の其と國マナマ

コロンビア國が、運河開鑿を肯せざりしが故に、アメリカ合衆國は、明治三六年、其の一州バナマを援けて、獨立せしめ、之れと締約して、其の計畫を進行せり。



兩米間に散在する一千餘の島嶼にして、三群島に大別せらる。大小アンチルは、山脈又は火山より成り、バハマは、低平なる珊瑚島より成る。大部熱帯にあれども、海風に調和せら

第二節 西印度諸島

合衆國はアメリカ  
合衆國の俗稱なり



島諸度印西

れて、酷暑ならず。季節は、乾濕二期あり。颶風屢起り、其の餘勢、合衆國に及ぶ。産物は、甘蔗烟草を主とし、其の他の天産言語、宗教は、中米諸國と大差なく、住民は、アフリカ族最も多し。想ふに、本群島は、バナマ運河竣工の曉は、東西交通の衝に當り、大に發達を見るべし。而して住民の現状より察すれば、到底他國の力によりて、開發利用せらるゝの外な

からん。

一バハマ諸島(領英)  
は閣龍の先着地なり。

鳳梨、海綿の産多く、ワトリング島(サンバ)



二大アンチル諸島

GREAT ANTILLES

キューバ・ハイチ・ジャマイカ

CUBA

HAITI

JAMAICA

領)ポルトリ

コ(領)の四島を主とす。

キューバ島は、面積吾が本洲の一半に

當り、砂糖・烟草・木材の産多く、首府ハバナは、之れが輸出港な

り。

キューバ島は、元、西班牙の植民地なりしが、母國の苛虐に堪

へず、明治二八年、反旗を翻し、に、アメリカ合衆國は、陰に、陽

に、之れを援助したり。三一年、ハバナ港碇泊の合衆國軍艦何者

にか爆沈せられしかば、合衆國は、之れを以て、西班牙國政府

の陰謀に出づるものとなし、キューバ島のサンチアゴ及び呂

宋島のマニラ灣に、西班牙國艦隊を撃破せしかば、西班牙は

ポルトリコ、フリンギアム等を割讓し、キューバ島に關する

權利を抛棄せり。尋いで、キューバ島は、合衆國の保護地となり

閣龍の亞米利加發見

閣龍は、一四三六年、伊太利の良港ジェノバに生る。家貧しかりしかども、父の厚き心がけに

より、普通の教育を受けしが、わきて地理・天文に心をかたむけ、他日の大航海者たる天資も

ほの見えしとかや、當時葡萄牙國は、航海發見に甚

だ力めしかば、同國に至り、地圖・海圖を作りて、辛

其の口を送りしが、大西洋を西に進みて、亞細亞に

到らばやとの念、燃ゆるが如かりしかば、之れを葡

萄牙國王に謀りしに、王は容れざりき。傳へ曰ふ、其

後閣龍は、亡妻の遺し、嬰兒を携へて、諸國にさま

よひ、西班牙に至りし時、憐れや、父子共に飢餓に逼

りしかば、某寺によりて、一食を求めしに、寺僧厚く

之れをいたはり、且つ其の壮志に感じて、之れを國

王に奏聞したりと。



西班亞國王伊薩貝拉后與其子

賢明なる西班牙の皇后イサベラは、寶玉などを賣りて、閣龍の望を副へ給へり。乃ち閣龍

は、三隻の小船に百二十の水夫を載せ、天にも上ぼる心地して、バロスの港より、西へ西へと

進みけり。北東貿易風の力をかりけれども、當時の船のことにしあれば、船足いと遅く、往け

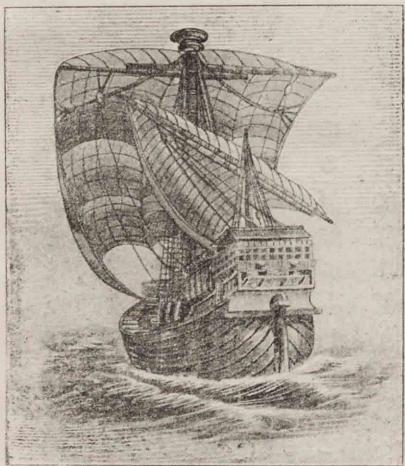


ス プ ロ コ

を着流したる閣龍が、嚴かに持てる。西班牙國の國旗は、ワトリング島の朝風に翻りぬ。閣龍時に五十七歳多年の宿望爰に成る。其の心の底や如何ならむ。

此の後、閣龍は、三たび大西洋を行きかひて、益々發見の歩を進めしかど、皇后イサベラ崩御の後、閣龍をいたはるもの、絶えてなかりければ、又失意の地に陥りて、貧苦の間に一生を終りぬ。あはれ英雄の末路悲しむべきかな。されども、今や新大陸は、實に世界の富源地となれり。其の門戸を開きける閣龍、また瞑すべきかな。

ども往けども、其の果てしなく、朝の霧を望みては山と誤り、夕の雲を眺めては島と迷ひ、飛び交ふ小鳥の聲もなく、唯、逆まく波の音に身も心も碎かれて、水夫どもは歸心矢の如く、終には閣龍を水に葬らんと企だてぬ。あはれ閣龍の生命は、恰も風前の燈火の如し。斯くても閣龍の意思は、鐵石の如く、荒だつ水夫をなだめつゝ、進みけるに、七十餘日の航海恙なく、遂に其の目的を達しけり。即ち一四九二年一〇月一二日、猩々緋の大禮服



船の代時スプンロコ

東・西兩印度諸島の比較

東印度諸島	西印度諸島
一 大陸の南東に位し、南支那海を抱く。	一 大陸の南東に位し、メキシコ灣・カリブ海を抱く。
二 數多の島嶼より成る。	二 同
三 火山多く地震屢起る。	三 同
四 颶風の慘禍多し。	四 同
五 全部熱帯に位すれども海洋に調和せられて酷熱ならず。	五 殆ど全部熱帯に位すれども海洋に調和せられて酷熱ならず。
六 附近より日本海流起る。	六 附近よりメキシコ灣流起る。
七 砂糖・烟草・珈琲の産多し。	七 同
八 マライ種族多し。	八 アフリカ種族多し。
九 一の獨立國なし。	九 三獨立國あるのみ。

土油膏は石油の酸  
化より成り寫眞版  
の製作及びタキ  
市の街路はこれの  
以て築かるに多し  
之れを産す

諸國に屬す。セント・トマス・セント・トマス島(領)は、良港を有す。トリニダード島(領)は、土瀝青を産し、佛領マルチニク島は、近時、屢噴火せしを以て、普く、世に知らる。

しが、明治三五年、獨立の共和國となれり。されど、内政治まらず、合衆國の干涉・援助を受くること屢なり。

ハイチ島の東半は、合衆國の保護國たるドミニゴン共和国にして、西半はハイチ共和国なり。共にアフリカ族多し。英領ジャマイカ島の首府キングストンは、ラム酒の産多し。三小アンチル諸島 英佛蘭丁の

旗國コシキメ



面積十二萬八千  
方里  
人口約一千四百  
十萬

### 第三節 墨西哥

MEXICO

中央亞米利加の北に位し、北回歸線、其の中央を貫けり。土地概ね、高原にして、沙漠的乾燥地をなし、オリサバ・POPocatepetl等々の火山、所々に噴起せり。海岸は、氣候濕熱にして、健康に害あれども、高原は、終年、春の如し。而して、季節は、乾・濕二期に分る。

**産業** 鑛業・農業は、主業にして、鐵道と共に、外資の大輸入によりて、駿速の進歩をなしつゝあり。特に、金・銀・銅・鉛等各種の鑛物に富み、中にも、銀の産額世界第一にして、銀塊、又は、銀弗に鑄造して、盛に輸出せらる。農産には、國民の常食なる玉蜀黍、ヘネケン、甘蔗、珈琲、ココアあり。又、仙人掌、龍舌蘭、桃花心木、黒檀能く發育す。住民宗教言語は、中米諸國と大差なく

南部チアパス州に  
本邦人の植民地あり



仙人掌とコチニール



〔圖解〕ココア  
梧桐科に屬し其の實の中に數十粒の核あり此の核を煎り粉末となし牛乳又は水に入れ砂糖を加へて飲料となす又粉末と砂糖とを粘りて墨形となしたるものは即ちチョコレートなり主としてメキシコ以南の兩米熱地に栽培せらる

〔圖解〕仙人掌とコチニール  
メキシコには種々の仙人掌生育す就中上圖の仙人掌にはコチニールて寄生蟲之れにつく上圖左の虫(雌)を乾燥せしめて粉末となせば洋紅となる此の虫は爪哇島に於ても飼育せらる



搬運の其と木心花桃

〔圖解〕桃心木  
熱帯の植物にしてメキシコ國等に産す材實堅生能く水に堪ゆて色は赤褐色なれども日光に晒せば黒色に變じ雅致あり吾等は其時計の縁に用ひらるゝを見るべし



ウニバ



る取ひ吸を液クルブリよ蘭舌人土

〔圖解〕龍舌蘭  
殆どメキシコの特産物なり葉は厚くして刺あり野生のものあれども多くは栽培せられ其の纖維より絲をとり麻の代用となす之れ即ちヘネケンにして最も重要な國産なり我が臺灣に於ても近時斯業に従事するものあるに至れり又土人は其の髓より液を吸ひ取りて酒を醸す圖は其の液汁吸取の様なり

〔圖解〕バナナ  
蘭科の蔓生植物にして果實は莢形を呈す其の未熟なるに當り採りて日光に晒し陰干になし以て香料又は醫藥に供す主にメキシコ以南の兩熱地に産す

教育は、強制主義なれども  
都會の外は、發達せず。政  
治は、立憲共和制なり。

當國は、夙に、文明の域に  
進みしも、十六世紀の頃、西  
班牙領となりて、新西班牙  
(邦人の所謂ノビエト)と稱し、吾が國とも交通したりき。十九世紀の初  
め、母國より獨立せしも、國勢、今、尙ほ振はず。地形や、天産や、將  
た、民族の發達や、ともに、第二流に位し、開拓、發展、到底、北隣の  
北米合衆國に及ばずと雖、亦、將來甚だ有望なり。

都會 首府メキシコは、國の中央、七千尺の高原に位し、氣  
候は、吾が東京に比し、遙に溫和なり。我が公使館及び總領事



俗風の人國哥西墨

會都  
メキシコ  
ベラクルス  
アカプルコ  
サリナクルス

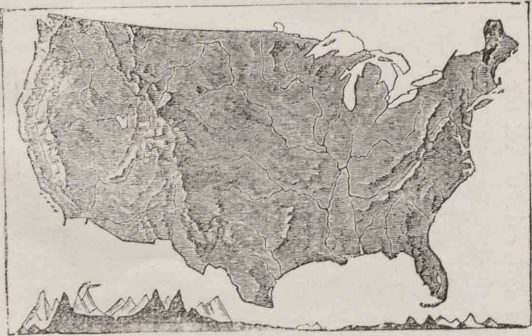
東洋汽船會社は極東諸港とサリナクルス港間に新鐵路を開き、サリナクルス港とテフアンテペク間の他の一端はメキシコ灣頭のコアツサコアルコス港となす。

面積約六十萬方  
人口約七千六百  
萬

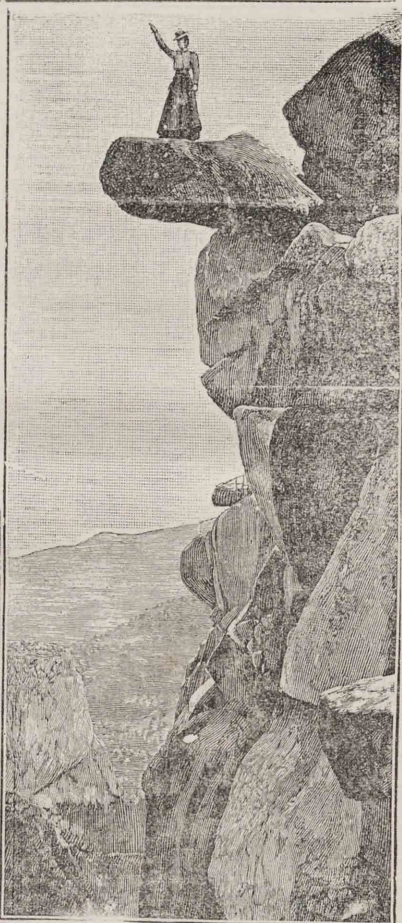
館此處に在り。ベラクルスは、メキシコ灣に臨み、國內第一の貿易港にして、アカプルコ及びサリナクルスは、太平洋岸の要港なり。特に、サリナクルスは、テフアンテペク地峽鐵道此の地に起りて、大西太平洋兩岸を連絡す。

第四節 亞米利加合衆國

地勢 本洲の中部に位し、俗に、合衆國、又は、米國と稱す。面積はカナダを凌ぎ、歐洲に近し。西部は、コルデラ山系最も廣大に蟠りて、山地、臺地多く、其の大盆地に沙漠を挟み、大鹹湖等の鹹湖多し。東側のイェルローストン公園、シエラネバダ山中のヨセミテ溪谷、南部の



形地の國衆合カリメア

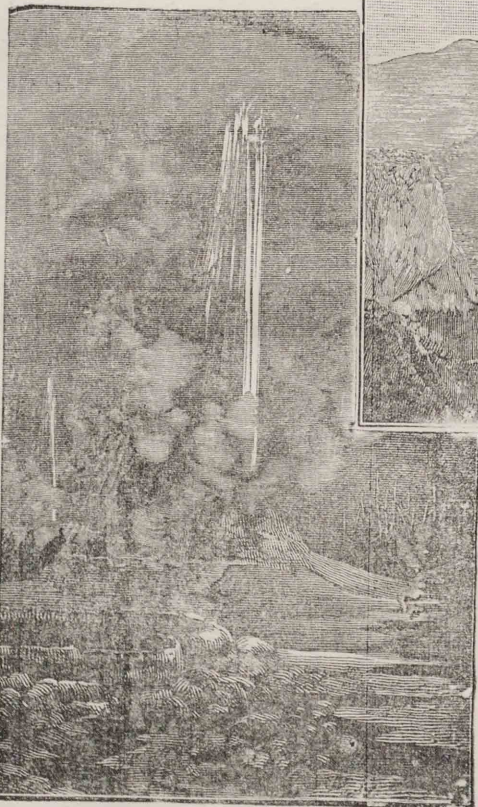


ヨセミテの奇勝(氷河角)

〔圖解〕ヨセミテは氷河の浸蝕によりて成る峽谷にして幅一哩長さ八哩に亘り岩壁峭立飛瀑空に懸り眞に宇内の絶景なり圖は即ち三千尺に餘まれる峭壁の岩頭を示したるものにして之れに副ふ岩壁亦近く其の前面に矗立す

〔圖解〕イェルローストン公園は南北二十五里東西二十里面積五百五十方里(再)が第一の大(半)世界一の奇蹟大公園にして奇岩怪石人々を驚かしめ間歇温泉壯觀を極む

コロラド大峽谷はコロラド河の水に溶り岩壁の峭立五千尺あり又世界の絶景なり



園公ントスーロルエイ

コ・ロ・ラ・ド・大峽谷等の大勝地あり。此の高地の金・銀・鑛及び木材の産に富めることは、既に述べたり。

東部の低夷なるアレガニト山

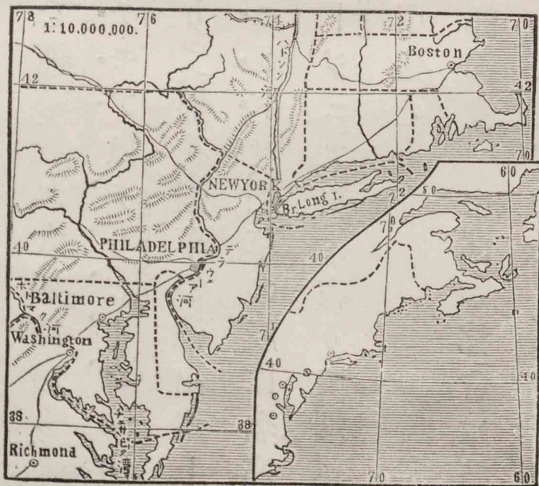
脈は、鐵・石炭・石油の埋藏、莫大にして、東斜面の要河及び東岸の良港灣と相待ちて、商工業盛に行はれ、本洲中、最も開發せられたる地方なり。兩高地の間は、一大平原にして、ブレイリーと云ひ、ミシシッピ河の流域に屬す。ミシシッピ河は北境に發し、本流より長きミズーリ・アーカンサス・オハイオ等の河流を併せ、メキシコ灣に注ぐ。舟運・灌漑の利極めて多く、大都名邑此の流域に在り。河口より支流ミズーリ河源までの長さ、一千七百餘里、世界第一の長流なり。而して、二十萬方里に亘れる廣漠たる河域は、農牧盛に行はれ、實に世界の穀倉たり。

**東部都會** 當國の北東海岸は、屈曲多く、良好の港灣少なからず。マサチューセツツ州のポートマスは、日露媾和の談判

MASSACHUSETTS PORTSMOUTH

△紐約には有名なる  
コロンビア大學あり  
タンドワース第一の  
社あり我が國に用  
ふる石油は多く此  
の會社の供給する  
ものなり

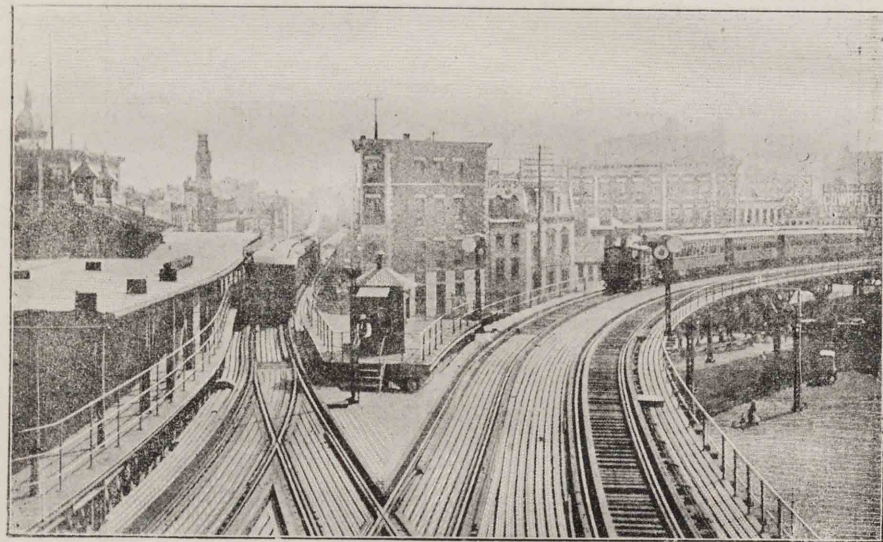
地として世界に轟き、其の南なる**ボストン**は、東岸第二の要津にして商工業の中心なり。郊外に**ハーバート**大學あり、**エール**大學は、**ニューヘブン**にあり。**紐約**は**ハドソン**河口に位し、附近の都市を併せて**大紐約**と稱す。人口四百萬餘、世界第二の大都府なり。棉花・穀物・石油等、本國輸出額の一半を占め、世界交通・商業の大中心なり。我が總領事館あり、其の附近なる**パタートン**は、絹業の中心なり。**デラウアー**河口の**フィラデルフィア**は、人口、百四十餘萬良港にして、米國第一の工業地たり。石炭・石油の取引、亦、世界



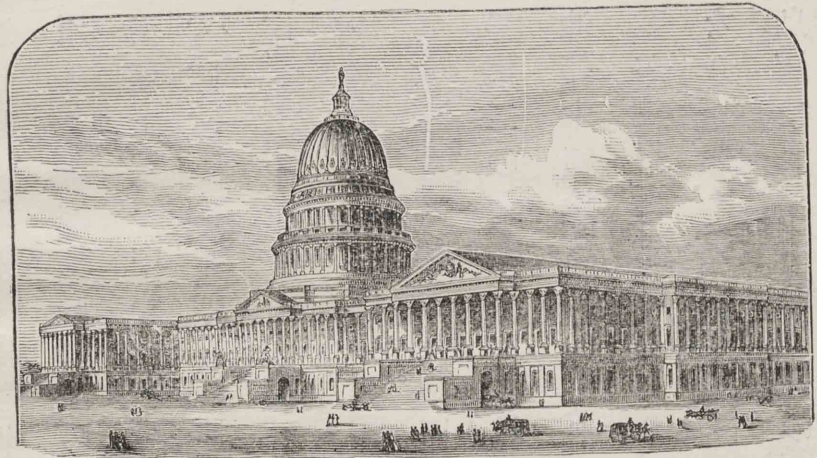
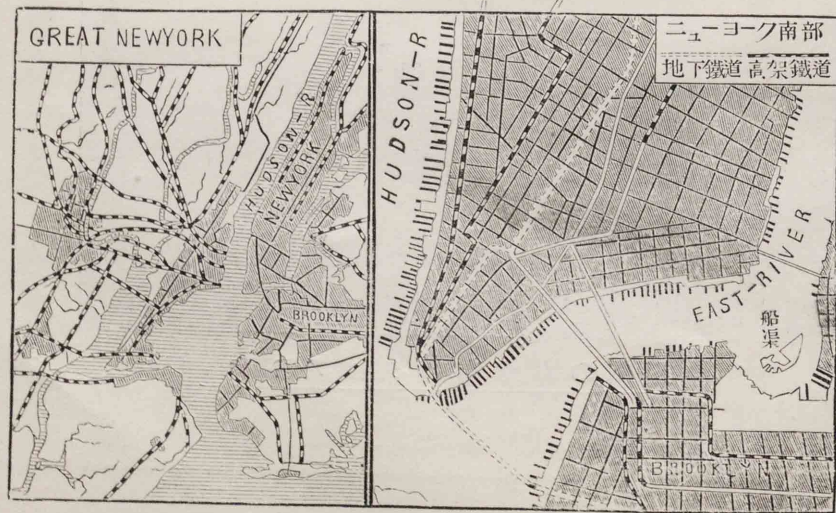
アメリカ合衆國東部都會の位置



橋ンリクルブのクーヨー、ニ



道鐵架高のクーヨー、ニ



堂事議國衆合の府ントンショウ

第一と稱す。首府ウオシントン  
WASHINGTON は、初代大統領ウシントンの墳  
POTOMAC 墓の地にして、ポトマク河口に  
臨み、國會議事堂、大統領官舎等  
壯觀を極め、我が大使館あり。  
ボルチモアは、BALTIMORE チュサピーク灣頭  
CHEESAPEAKE にありて、棉花、烟草の輸出多し。  
リチモンドは、RICHMOND 烟草の産に名高  
VIRGINIA きバージニア州に在りて、烟草  
の取引盛なり。  
**中部都會** 中部の都會は、概  
ね、湖港又は河港なり。數十年

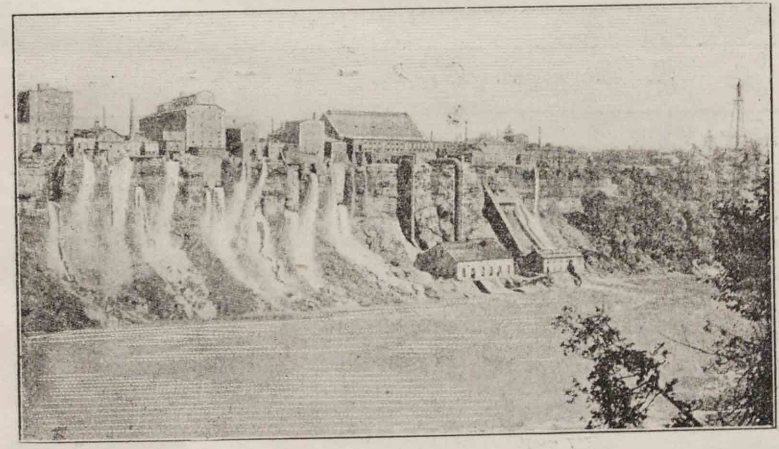
東部		中部		西部		南部	
ボストン	ニューヨーク	フィラデルフィア	ワシントン	セントルイス	セントポール	シカゴ	セントルイス
ボストン	ニューヨーク	フィラデルフィア	ワシントン	セントルイス	セントポール	シカゴ	セントルイス
ボストン	ニューヨーク	フィラデルフィア	ワシントン	セントルイス	セントポール	シカゴ	セントルイス

前一寒村たりし、ミシガン湖頭のシカゴCHICAGOは、其の發達急速にして、今や、人口二百餘萬に達し、大紐育に次ぐの大都會にして、數多の鐵道集合し、交通至便なり。小麥・獸肉の大集散地にして、壯大無比の屠肉場あり。此の地に、我が領事館を置く。北西のセントポールSAINT PAULは、ミシシッピ航行の極點にして、ミネアポリスMINNEAPOLISは大工業地なり。エリト湖南のクリブランドCLEVELANDには、鋼鐵製造場あり、エリー湖脚のバフファロBUFAFALOは、穀物の大市場にして、運河によりてニューヨークに通ず。其の西方に、有名なるナイアガラ瀑あり。水烟高く、萬雷轟き、壯觀云はん方なし。セントルイスSAINT LOUISは、ミシシッピ・ミズーリ兩河の會合點に近く、農産的工業品を製出し、麵粉の取引隆盛にして、中央平原交通の要衝を占む。オハイオ河を溯れば、烟草の大市場なるルイ

北亞米利加洲 各國誌 亞米利加合衆國



布 瀑 ラ ガ ア イ ナ



用 利 の カ 水 布 瀑 ラ ガ ア イ ナ





○横濱を距る四八〇海里

\*十五六年前は人口僅に五萬餘に過ぎざりしに今や二十七八萬の大都會となれり

斥の聲甚だ激烈なるは、頗る遺憾なり。

SAN FRANCISCO 30

桑港は、太平洋の諸港を控え、鐵道によりて國內の諸市に

達し、太平洋横斷電線の東端にして、實に、西岸第一の良港な

り。東洋汽船會社桑港線の終點に當り、在留

邦人多く、吾が總領事館あり。桑港より南

すれば、果實の集散地なる。LOS ANGELES \*ロ・ス・ア・ン・ジ・ル・ス

あり。北すれば吾が領事館の所在地なるポ

・ト・ラ・ン・ドあり。鮭の産を以て有名なるコ

・ロ・ン・ビ・ア河に臨み、鮭・小麥・材木の輸出多し。更に北すれば、PORTLAND \*コ・マを経て、シアトルに達すべし。COLUMBIA

シアトルは、大北鐵道の

西端に位し、日本郵船會社シアトル線の終點に當り、我が領

事館あり。



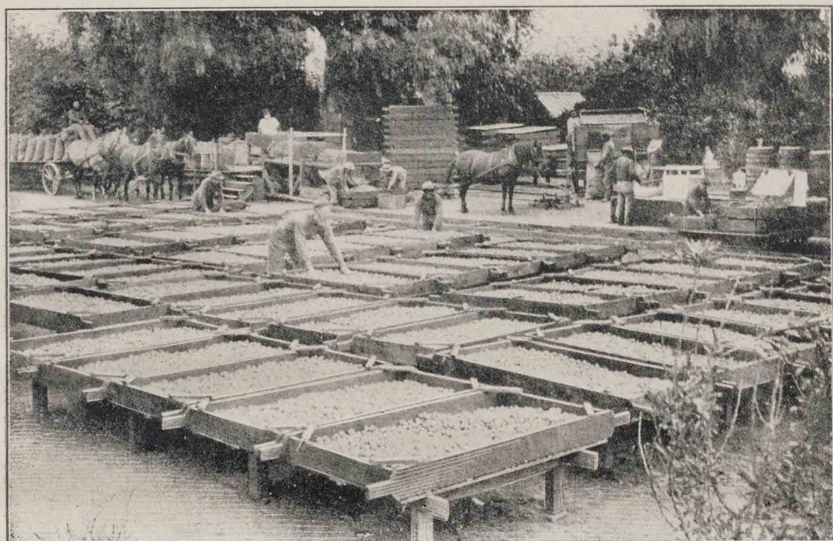
近附コスシラフンサ



オクラドンより桑港及び金門を望む



震災後の桑港に於ける日本人街の一部



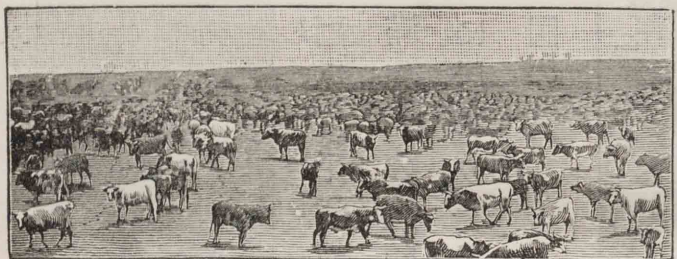
(スルエジンアスロ) 採の桃胡



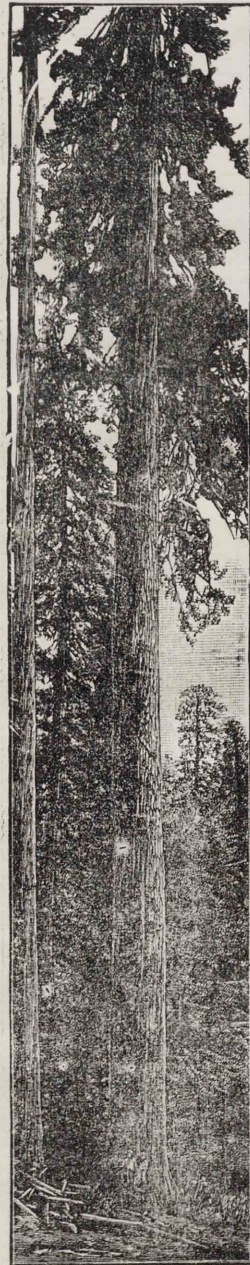
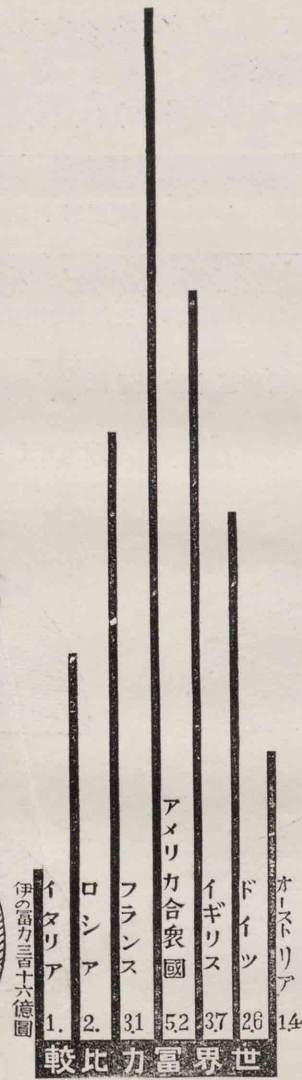
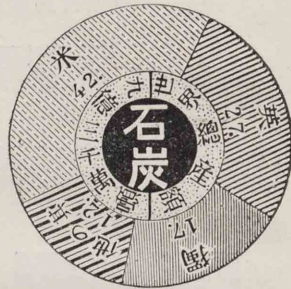
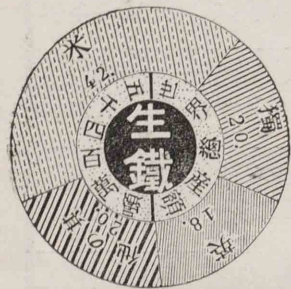
(地民植和大) 園農の營經人邦本

桑 港 線 香港 上海 長崎 神戸 横濱 Honolulu 桑 港  
 シアトル線 香港 上海 門司 神戸 横濱 ピクトリア シアトル

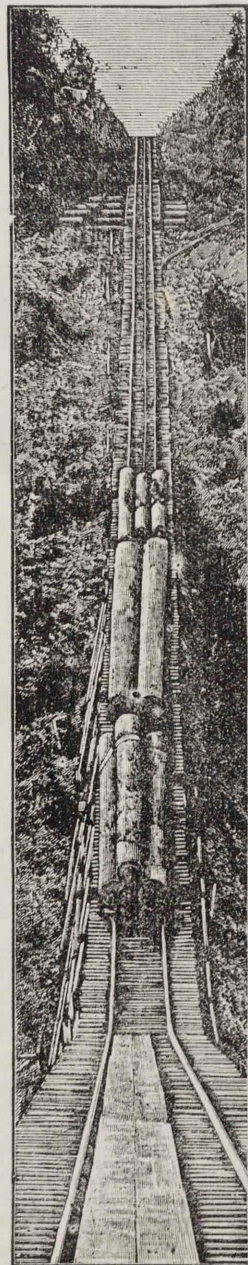
アメリカ合衆国の牧牛



**産業** 天産物豊富にして、鑛産の如き、農牧産の如き、到底他國の比肩し能はざる處なるが上に、交通機關、頗る整備し、河湖の舟運廣大に、鐵道の布設全國に普ねく、市場と生産地、特に、大工場との連絡完備し、加ふるに、新發明の應用、資本と人才との結合等と相待ちて、此處に、世界無類の大實業國を現出す。宜なる哉、當國富力の全世界に冠たることや。農業は、第一の富源にして、棉花・小麥・燕麥・玉蜀黍・烟草及び牛豚の頭數、世界の首位を占め、林産も之れに

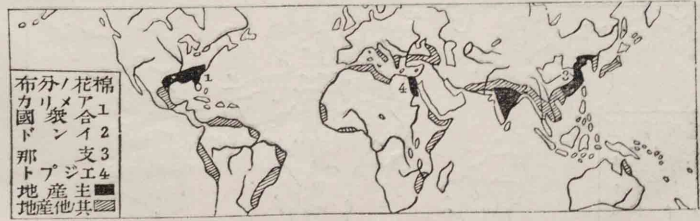
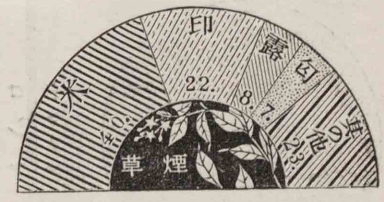
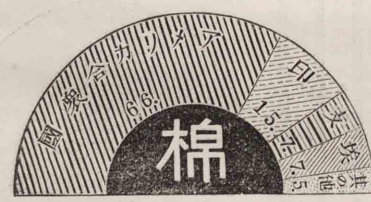
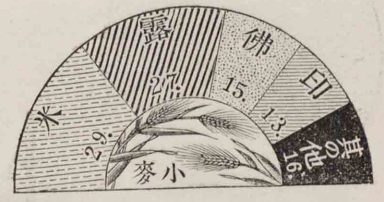
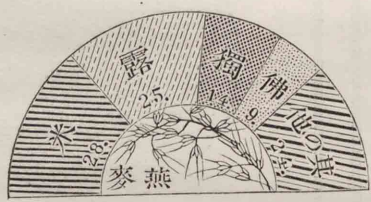
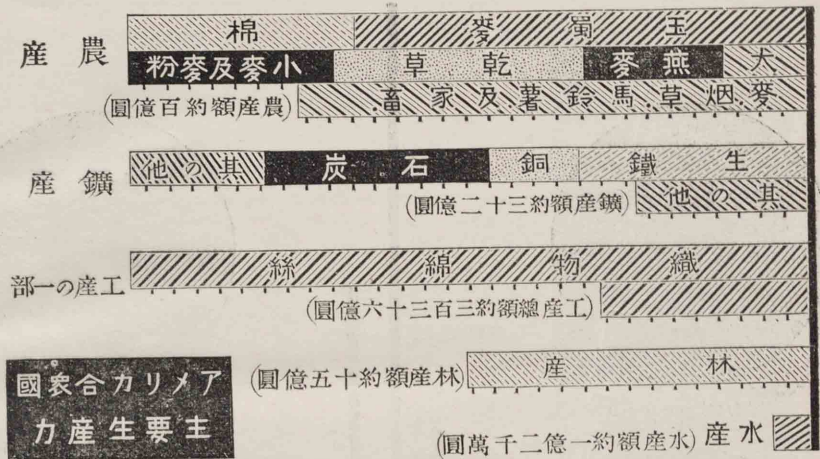


林 森



ンイラクンイ材運

副ひ、太平洋面の果實も、亦、其の産夥し。鑛業中、銅・鐵・石炭・石油・滿俺鉛の産額は、世界第一にして、金・銀の産も、世界の第二位に居れり。工業亦盛大にして、五十萬の工場と、二百七十億圓の資本とを擁し、世界の工業國として、英國と馳騁せり。而

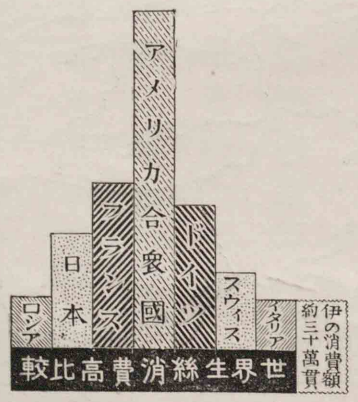


人口に比し、人の多きこと世界第一なり  
 支那の生絲消費額は米國に匹敵すべしと云ふ

米國諸鐵道會社は激烈なる自由競争に始まる一轉じて、運送の全同となりて三分の二は二三の國家の左右する處となす。此の如き力も亦これを如何とすべし。此の如き力も亦これを如何とすべし。此の如き力も亦これを如何とすべし。

も、其の莫大なる原料は、多くは、之れを國內一千萬の農民と數百萬の漁鑛民とに仰げり。嗚呼、斯くて、本國は、商業に於ても亦、世界の重鎮にして、特に其の輸出額は、將に、英國を凌駕せんとするのみならず、輸出の輸入に超過すること、實に十二億圓に達せり。我が國は、繰綿・石油・鐵・麵粉等の供給を受け、生絲・茶・羽二重・花筵・樟腦等を輸出す。

**交通** 河湖・運河多く、水運極めて大なり。又、鐵道の發達驚くべく、其の延長、二十萬哩以上に達し、實に、世界鐵道の一半を有し、大北鐵道・聯合太平洋鐵道等の數條の大鐵道は、大陸を横貫し、速力の速き、運賃の低廉なる、當國に比すべき國なり。



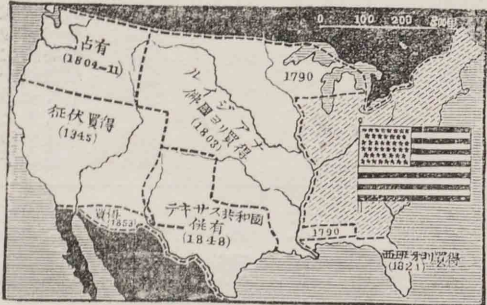
し。而して、桑港・シカゴ・セントルイス・新オルリーンス・ニューヨーク等は、其の大中心なり。

**住民** 英人の子孫、大半を占め獨人之れに次ぎ、新教最も隆盛なり。抑、米國人は、區々たる歐洲の地形に似もやらざる、開達廣大なる新天地に養はれて、自ら、母國特有の性情を變じ、一般に、所謂アメリカ氣質となり、金權を重んじ、實利益を主とす。實に自由平等と利益とは、米國人の理想なり。白人の外に、少數のアメリカ



在留支那人約九萬に於て其の一半はカリフォルニア州にあり

米國々旗の横線は幾條にして星章は幾個ありや



旗國と版圖の國衆合加利米亞

印甸人及びアフリカ(黑人)兩族あり。在留邦人、約八萬にして支那人は、稍之れより多きも、近時、入國を禁ぜられ、漸次減少に向へり。

**沿革** 本國は、コロンブスの新大陸發見後、佛・西等の植民地たりしが、英國終に之れを領有したり。然るに、一七七六年東方十三州、本國政府の重税苛斂を鳴らし、交戦七年の後、遂に獨立せり。其の後、購買、又は、戰勝等によりて、大に版圖を擴張し、殊に、近年、ハワイ・グアム・フィリピン及びサモアの一部等を併呑し、國勢隆々として進歩し、其の底止する處を知らず。近年我が移民問題は、稍、兩國の友情を疎隔せんとするものあるも、我が國の今日あるは、當國教導の賜物にして

近時太平洋上の平和を以て日米協約を締結したり

アメリカ合衆國の有名なる四大學は、ハーバート・エー・ル・コロンビア及びジョン・ホプキンス(Johns Hopkins)なり(ボルネオ)なり

通商上の關係、亦密接にして、吾が最優華客國なれば、今後益、交情を緊密にせんことを期せざるべからず。  
**政治** 本國は、一區四十六州、二地方(スカーイ・アラ)より成れる。立憲合衆共和國なり。而して、中央政府は、全合衆國の治安、外交、軍事等に就きてのみ統治權を有し、各州亦、自治的共和國なれば、州治に就きては、毫も中央政府の干渉を受けず。之れ合衆國の合衆國たる所以なり。合衆國政府は、大統領、行政權を有し、議會は元老院及び代議院の二より成れり。兵備陸軍は、未だ充足せずと雖、海軍は、近年、大擴張をなし、其の強大なること世界に稀なり。教育は大に進歩し、常識の養成を以て其の主眼とし、殊に、高等女子教育を以て世に稱せらる。

アメリカ合衆國と清國との比較

- |  |  |
|--|--|
| <p><b>アメリカ合衆國</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 西半球の北温帯に在り、清國と略々等緯度に位す。</li> <li>二 面積約六十萬方里。</li> <li>三 人口約八千萬、海外より移住するもの多し。</li> <li>四 太平大西二洋の間に介在し、世界の交通上、商業上好位置を占む。</li> <li>五 高原西に在れども、東西の交通を妨げず。又地形上、大河は、概ね南北に流る。</li> <li>六 新興國にして急進的なり。</li> <li>七 金權を重んじ、商利に敏なり。</li> <li>八 平民的にして、階級の別なし。</li> <li>九 ミシシッピ河及び五大湖は、水利廣大なり。其の水城の農業は、此の國第一の富源にして、特に、麥、綿等の産額世界第一なり。</li> <li>十 石炭の採掘高世界第一。</li> <li>十一 原料饒多、燃料豊富、交通至便、企業熱熾なる故、器械的工業盛大を極む。</li> <li>十二 聯邦共和政にして、各州は強大なる自治權を有し、内政に就きては、殆ど中央政府の干渉を受けず。</li> </ul> | <p><b>清國</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一 東半球に在り、南端少しく熱帯に入るの外、全部北温帯に位す。</li> <li>二 面積約七十萬方里。</li> <li>三 人口約四億、海外に移住するもの多し。</li> <li>四 東方一面のみ海に面す。</li> <li>五 高原西部に在り、東西の交通を妨ぐ。又地形上、大河は、概ね東西に流る。</li> <li>六 老大國にして守舊的なり。</li> <li>七 金權を重んじ、商利に敏なり。</li> <li>八 貴族的にして、官尊民卑の弊甚し。</li> <li>九 揚子江及び珠江は、水利廣大なり。其の水城の農業は、此の國第一の富源にして、特に、米、生絲の産額は、世界第一と稱せらる。</li> <li>十 炭田の炭量世界第一と稱せらる。</li> <li>十一 原料豊富なれども、石炭資本の缺乏及び交通の不便に因り、器械的工業未だ振はず。</li> <li>十二 君主專制なれども、各省總督の權力重大にして、海外天子の稱に背かず、恰も聯邦の如き觀あり。</li> </ul> |
|--|--|

設問 一 米國の將來は如何。二 清國の將來は如何。三 米清二國の中介者たる地位にある日本の將來に對する國民の覺悟は如何。

海外天子は總督の俗稱なり

米國よりの通信 (海野渡發)



カネーギ



モルガン

拜啓 先日倫敦を辭し、リバプールより、航海約一週の後、紐育に出で、それよりピッツバーグなる製鋼所シカゴなる大屠肉場巡覽後、大北鐵道によりて米國を横きり、目下シアトル附近の同胞を歴訪中に候間、故山の風光に接するも、近きに可有之候。紐育はハドソン河口のマンハッタン島に位し、大陸側のシアーシナイ、ロンガ島岸のブルクリンなどを併せて大紐育と申候。其のブルクリンに渡るべき三個の橋は、何れも世界屈指の長橋に候。該市家屋は層々相重なり、中には四十六七階に達するもの有之候。該市の交通機關中最も著しき高架鐵道は、概ね民家の三四階に相當すべき高所に架せられ、居り候へども、車窓の兩側に家々相並びたれば、恰も平地を走れるかの如き感有之候。又ハドソン河及びイースト河岸には、大小の棧橋ながら、櫛の齒を引けるが如くに候。之れに繋留する船舶の如何に多きかは、此に申す迄もなきことと存じ候。ピッツバーグ製鋼所は、面積二十餘萬坪、數十條の鐵道場内に縱横し、彼の英國第一のピッカース製鋼所をも凌ぐべき大規模のものに候。其の創建者カーネギーは、英國に生れしも、米國に渡り、織物工場の徒弟又は汽罐の火夫たりしが、遂に斯る大成功をなししものに候。今時トラスト組織を以て此の工場をも併合せしめたるモルガンは、當國富豪の家に生れて、獨逸の大學をも卒業せしものに候。徒手にして成功したるカーネギーと、富豪の家に生れて、愈々富豪となりしモルガンとは、米國實業界の二大偉人とて、人々に賞讃せらるゝ儀に候。

アラスカ在留邦人約九百人

ノーム岬附近のノーム市は金産地の中心なり

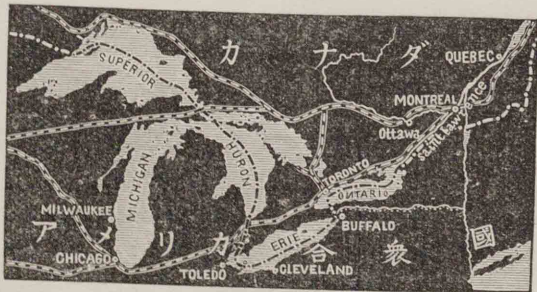
面積六十二萬四千方里  
人口五百四十萬

\*ミシガン湖は全部アメリカ合衆國內にあり

**アラスカ地方** ALASKA 本洲の北西部に位し、ベーリング海峽を隔て、アジア洲と相對す。ベーリング海は海獸に富み、特に**プリピロフ島**は、膾炙の繁殖地として著はれ、ユーコン河は砂金・鮭に富めり。

第五節 加拿大 CANADA

本洲の北部を占め、其の面積、略、合衆國に等しけれども、北部には、住居に適せざる荒涼たる凍野少なからず。西高地とラブラドル高原との間は、沼澤・濕地多き大平原にして、セントローレンス河・ネルソン河・マケンジー河等の河域を造り、湖沼には、合衆國との境上なる**五大湖**及び

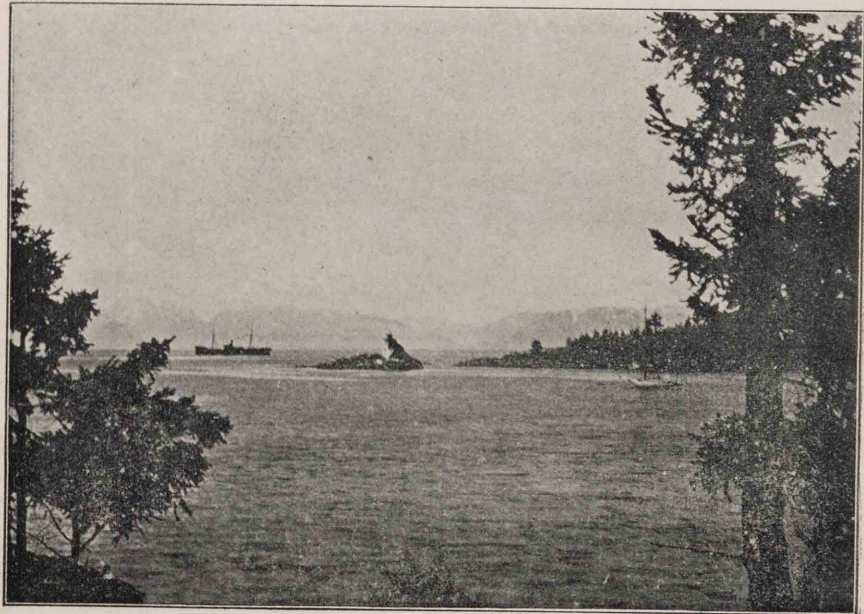


五大湖とその附近の都會



\* 各所に急流部あれども運河によりて舟を通ずる名なるとは其の一例なり  
 △ 冬季の外は通常ケベックを船車運に結ぶとなし之れに至る迄約三〇〇哩に達す近時又之を並行線なる鐵道の工事に着手し既に其の一部を完成せり

ケベックは佛人の經營に成りカナダ最古の都府なり七年戦争の時英將ウルフ之を攻め略して北米に於ける國の植民地の根柢を顛覆せしめ又交通上の要地なり



む望を脈山の州ントンシオウリよ港アリトクピ



市 - パ - ク - ン - バ

ウイニペグ グレートスレーブ 湖 グレートレイク 大熊湖 最も著し。

WINNIPEG GREAT SLAVE SAINT LAWRENCE

CANADIAN PACIFIC R. W.

セントローレンス河は、冬期氷結の缺點あれども、五大湖に舟を通ずべく、カナダ太平洋鐵道と相待ちて、大に本土の交通發達を資く。故に繁盛なる都會は

都會

ハリファクスは、ノワスコチア

多く此の地域に集れり。  
 半島の東部にあり。東岸唯一の不凍港にして、軍港を兼ね、カナダ太平洋鐵道の東起點なり。  
 ケベックは、セントローレンス河口に臨み、要害堅固の地と稱せらる。其の上流にカナダ第一の都會たる **モントリオール** あり。航洋汽船、湖

MO. TREAL 27



ク - ヲ - マ - ケ

在留邦人約七千人  
 ハリフアックス  
 モントリオール  
 トロント  
 オタワ  
 ウィニペグ  
 バンクーバー  
 ヴィクトリア  
 エドモントン  
 セントジョンズ



近附一パーケンバ

江の終點にして、商工業の大中心なり。オンタリオ湖北の  
 トロントは、著名の港市なり。オタワは、當國政廳のある所  
 にして、我が總領事館あり、木材集散の中心とす。ウィニペグ  
 は、カナダ太平洋鐵道の中點に位し、サスカチワンの上流地  
 方より産する麥類の集散地なり。鐵道  
 之れより、更に西して、ロッキークラスケード  
 二山脈を越え、晚香坡に達す。此の地は、鮭  
 の産に名高きフレザ、河口附近に位し  
 本邦人の漁業に従事するもの多く、我が領事館あり。バン  
 クーバー島のビクトリアは、英領コロンビア州の首府にし  
 て、日本郵船會社汽船の寄港地なり。其の附近のエスキマル  
 トは、英國艦隊の根據地にして、ハリファクス軍港と、東西相應



漁 鮭 の 口 河 - ザ レ フ



橇 の 方 地 ク イ ダ ン ロ ッ ク 地 金 産

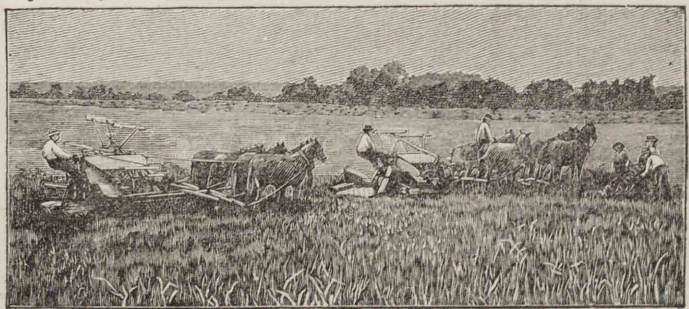
(圖解) カナダに於ける小麦の收穫の状なり。小麥は直に其の種先を以て大農耕作法の一斑を知るべし。

ダウソン市はクロナイク金産地の中心に發達せし新都會なり。

ざり。

産業

セントローレンス・ネルソン・アサバスカ諸河流域の麥類、英領コロンビア州の材木は、ケベック地方と共に、其の産夥しく、乾酪の輸出、世界の首位を占め、東岸の鱈・鯡・鯖・海豹、西岸の鮭は、共に無盡藏なり。 鑛業 有名なるクロンダイクの金産は、既に衰運に傾きしも、銅・鐵・石炭の産額著しく増加し、ニッケル、安質母尼の産、世界全産額の大半を占む。 日加貿易は、未だ盛ならずと雖、前途有望なり。現今我が國より、茶・絹布・生絲を購ひ、我が國に、少數の鹽・鮭・麥粉・材木を輸出す。



小麦の收穫

住民

地積廣けれども、人口僅に、五百萬に過ぎず。英國人の子孫最も多くして、英語・新教廣く行はれ、教育發達せり。而してケベック地方に、佛國人の子孫の多きは、歴史の然らしむる所にて、全土に於ける英・佛人の比は、七と三との割合なり。生産力漸次高進し、文化次第に整頓し、本國との關係密接を缺けども、英國最要の植民地たり。

現今カナダ諸州に於ける吾が移住民の數、約一萬三千に過ぎず。而して、其の大部は、殆ど、英領コロンビア州に集り、近年之れが排斥問題喧しきは、甚だ遺憾なり。

政治

本土は、強大なる自治權を有し、殆ど、獨立國の觀あり。總督、行政權を握り、立法權は、上下兩院より成れる議會に屬す。全土は、州、又は、地方に分れ、各州、亦、自治制を布く。

〔圖解〕新ファウンドランドの地形は、氷山の塊、好土の砂、運搬せしめられたり、海魚の漁獲多し。



新ファウンドランドの地形

### 新ファウンドランド 英國直轄植民地にして、ラブラドル

の東岸をも管理す。冰山を伴ふて、デ・ビス海峡を南下し來るラブラドル寒流に洗はれ、最寒にして濃霧深しと雖、近海には所謂新ファウンドランド沙灘ありて、鱈・鯡等の魚族群集し、世界三大漁場の一たり。セントジョンは、其の市場にして、又、肝油の産多し。

セントピエール・ミケロン島(領) 新ファウンドランド島の附近にあり、重要な漁場なり。

ベルムダ諸島(領) 世界最北の珊瑚島にして、新ファウンドランド島の遙なる南方にあり、氣候温和にして果實の産あり、冬季避寒の爲め、大陸より來遊するもの多し。

### 第三章 結論

政治 本洲は、コロンブスの發見後、英・佛・西・葡等の植民地

となりたれども、今は概ね、立憲共和

の獨立國となれり。住民 は、英・佛

西・獨・伊等、歐洲人の子孫多く、尙ほ北

部に、エスキモー(蒙古種)、其の以南に、亞

米利加印・アフリカ(黒人)・メスチゾの三族あり。

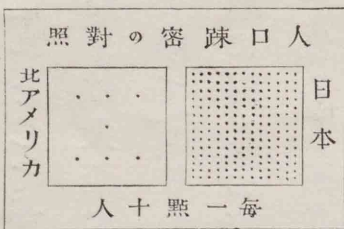
英語・新教、最も廣く行はる。總人口、約一億、一方里の住民、僅に七十餘に過ぎず。乃ち我が同胞の好移住地なり。

産業 本洲は、六大洲中、最も天産に富めり。試みに、農・牧・林

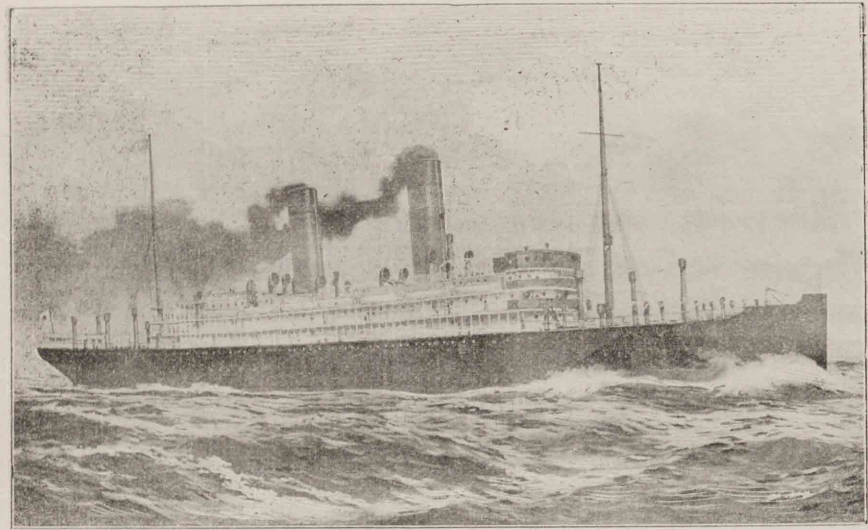
鑛四業の隆盛地方と、品種とを指摘し、且つ海産物の無盡藏

#### 政治の上の要地

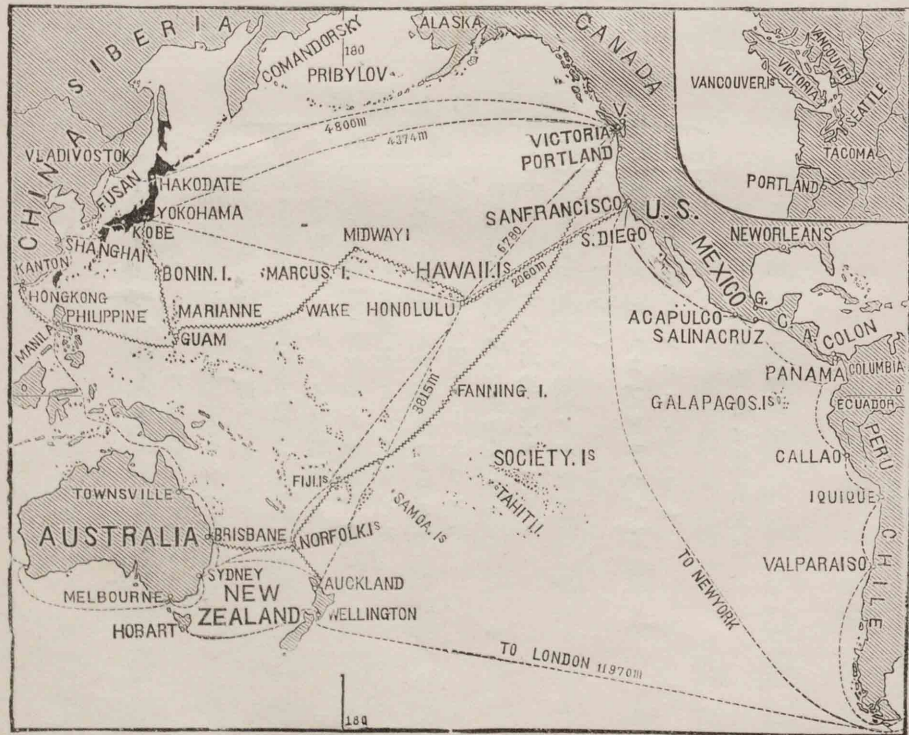
ガタロウオン  
メキシコ  
アメリカ  
カナダ  
セント  
ジョン



なるを想はゞ、誰れか、此の言を疑はん。然れ共、商工業は、歐洲先進國の壘を摩するもの、唯一のアメリカ合衆國あるのみ。  
**交通** 天産に富み、實業盛なるが故に、各種の交通機關も從つて頗る整備し、之れを歐洲に比するも、敢て遜色を見ざるのみならず、鐵道の進歩に至りては、却つて彼れをして、其の後へに、瞠着たらしむるの概あり。特に本洲は、東は大西洋を隔て、歐洲の文明諸國に面し、西は太平洋を隔て、彼四億の民衆を有する支那及び新興の吾が帝國に對し、七條の鐵道によりて、此の二洋を連絡し、今や更に、一條の横斷線成らんとし、又數年後には、パナマ運河の開通を見んとす。以て本洲が、世界交通上、如何に重要な地位を占むるかを見よ。



天 洋 九



太 平 洋 の 交 通 及 要 地

地要の上通交

洋平太	洋西大	地内
ル ト ス パ ナ マ	ス ハ バ ナ コ ロ ン	ウ イ ニ ハ グ シ カ ゴ セ ン
ト ラ ン ド 桑 港 サ リ ナ ク	ス ト ン ニ ウ ー ガ ル リ ー	ト ボ ー ル セ ン ト ル イ ス
ー シ ア ト ル タ コ マ ボ ー	ス ト ン ニ ウ ー ガ ル リ ー	ハ リ フ ア ク ス ケ マ ツ ク
ビ ク ト リ ア パ ン ク ー バ	モ ン ト リ オ ー ル 組 育 ボ	

地要の上業實

他の其	陀拿加	國衆合	カリメア	メア
酒 煙 草 砂 糖 キ ン グ ス ト ン ラ ム	ベ ラ グ ル ス カ ブ ル コ ハ バ ナ	ニ ニ ハ グ 小 麥	イ ニ ハ グ 小 麥	組 育 棉 穀 物 石 油 バ タ ー ソ ン 絹
		セ ン ト ジ オ ン 水 産 物 モ ン ト リ	ス ピ ル 煙 草 シ ン シ ナ チ 獸 肉 ヒ	フ イ ラ テ ル フ イ ア 石 炭 石 油 ホ
		ガ ー ル オ タ リ 木 材 ト ロ ン ト ウ	ス グ リ ー ア ラ ン ド 鋼 パ ツ フ ア	ル チ モ ア 棉 煙 草 リ チ モ ン ド 煙
		イ ニ ハ グ 小 麥	ス グ リ ー ア ラ ン ド 鋼 パ ツ フ ア	草 シ カ ゴ 穀 類 家 畜 ミ ネ ア ボ リ
		ニ ニ ハ グ 小 麥	ス グ リ ー ア ラ ン ド 鋼 パ ツ フ ア	草 シ カ ゴ 穀 類 家 畜 ミ ネ ア ボ リ
		ニ ニ ハ グ 小 麥	ス グ リ ー ア ラ ン ド 鋼 パ ツ フ ア	草 シ カ ゴ 穀 類 家 畜 ミ ネ ア ボ リ

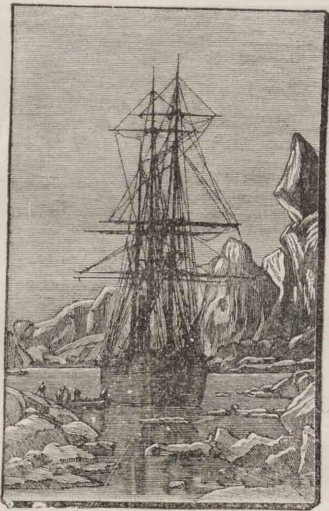
地名下割註の物名は商品又は  
其の地の製品を示す

太平洋の交通は、之れを大西洋に比すれば、甚だ寂寥の觀  
あれども、輓近、太平洋岸諸國、特に東亞の進歩に伴ひ、駿速に  
發達しつゝあるは、他に其の比を見ざる處なり。嘗て一條だ  
に、是れなかりし太平洋の海底電線は、今や二條を見るにあ  
らずや。二十年前の太平洋上の定期船は、僅に三萬噸に過ぎ  
ざりしに、今や之れに七倍するの盛況を呈するにあらずや。  
斯くて其の歩武を進めんか、大西洋を凌駕するの日、蓋し遠  
き未來にあらざるべし。此の前途多望なる太平洋、特に北太  
平洋に於て海運に従事するは、日米を最とし、英獨佛之れに  
次ぐ。特に我が東洋汽船會社は、吾が國に於て進水したる、最  
も進歩せる二大船を、新に太平洋航路に使用し、大阪商船會  
社は本年を以て、新に太平洋上の航運界に闖入せり。豈に又

盛ならずや。

### 第七編 兩極地方

POLAR REGIONS



極地探檢船

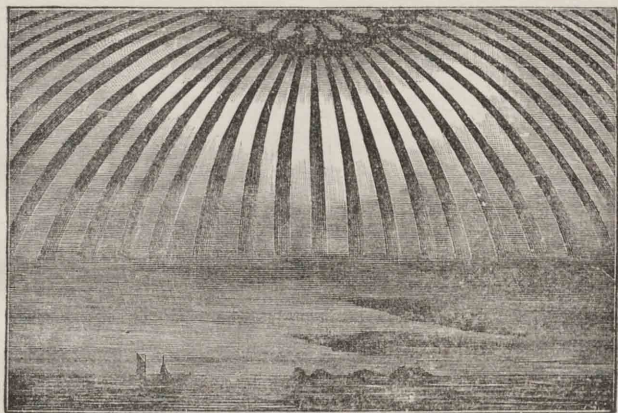
歐米諸國に於ては、或は陸地を發見せんとし、或は航路を創始せんとし、或は最極地に到達せんとし、或は氣象磁氣海洋等の諸科學に資せんとして、極地の探檢を企つるものあり。烈風肌を劈き、氷山咫尺に逼るも、其の目的を遂行せんとする、剛膽熱誠誰か之を欽仰せざらん。

**北極地方** ARCTIC REGIONS 多くの探檢家の偉功により、其の四分の三は

既に探檢せられたり。即ち、アジア・ヨーロッパ・北アメリカ三大陸の北端の外、北極圏内には、數多の島嶼存在せり。

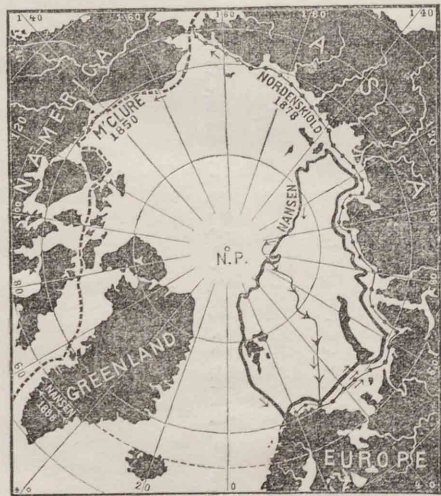
島嶼の著名なるものは、バフィンランド、グリーンランド、スピッツベルゲン、SPITZBERGEN

ナリナン  
景を能く  
美く語ら  
せんと欲  
る光の眞  
な美



光 極

を完成し、瑞典人ノルデン  
ドは、北東航路(歐羅巴の東端に達すべき  
NORTH EAST PASSAGE)に成功したり。されど何れも



方地極北

アは、遂に北西航路(歐羅巴の東端に達すべきもの)に倒れ、  
英人ジョン・フランクリンは北西航路(北極圏内)に倒れ、  
新シベリア等なり。

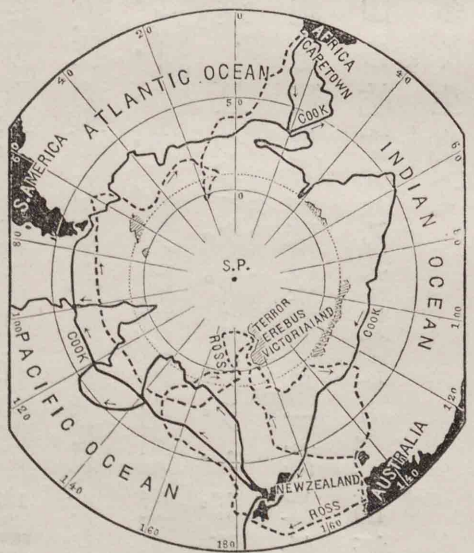
フランツ・ヨーゼフ、  
NOVA JEMLANOVAYA SEMIYAN  
FRANZ-JOSEF-LAND  
NEW SIBERIA  
JOHN FRANKLIN  
NORTH WEST  
MAC CLURE

の如く、  
三、千、  
一、百、  
大なる  
せ、南  
り、北  
信、南  
土、北  
面、南

實用に適せずと云ふ。而して那威人ナンセンは、北緯八六度  
一四分、即ち、北極を距る、僅に四度弱の處に達したり。彼の灣  
流は、那威の西岸より北東に向ひて、北極圏内に進入するが  
故に、ナンセンは、大に之れを利用せり。蘇苔の外、植物の發  
育に適せず。

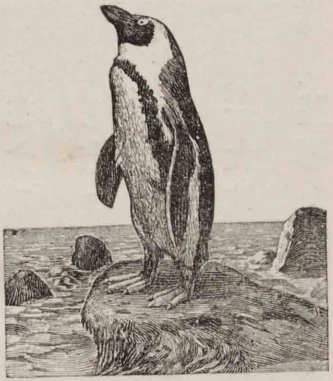
南極地方 大部未だ探

ANTARCTIC REGIONS  
の存在するもの、如し、十  
八世紀末に於て、英人クック  
は、南大陸發見等の目的を  
以て、一大航海を企てしも  
遂に、陸影を認むること能



方地極南





鳥ンギンハ

エ・レ・ブ・ス・テ・ロ・ル  
EREBUS TERROR  
の二大火山の屹立せるを見たり。南極地  
方には、ペンギン、鳥鯨、海豹多く生息す。

はざりき。其の後、十九世紀の中葉に  
至り、彼の磁石の北極を發見せし英  
人ジェームス・ロスは、南緯七六度の點  
JAMES FOSS  
に達し、且つ、ビクトリア・ランド等の  
VICTORIA LAND  
陸地を發見し、殊に、高さ一萬尺餘の

人口

最新領土南緯太の  
面積人口は共に之  
れを算入せず

人文地理上より見たる我が帝國と世界との對照。

一 人口

世界の人口は、十五億餘にして、其の大半は、亞細亞洲にあ  
れども、其の密度より論ずれば、歐羅巴洲第一にして、亞細亞  
洲之れに次げり。

我が帝國は、實に世界全人口の三十分一を占め、其の稠密  
なること、白蘭英に次ぎて、世界の第四位にあるのみならず  
年々の増加、無慮五十萬に達し、五六十年を出でずして、今日  
に二倍すべし。是れ國運の發展上、大に慶すべきことなれど  
も、亦以て同胞の移住を、獎勵せざるべからざる所以なり。  
近時、滿韓の地に赴くもの、稍多きも、尙ほ海外在留邦人の數

僅々二十五六萬に止まり、我が國よりも人口の密度、稍、低き獨逸國一年の移住に過ぎざるを如何せん。

南樺太の面積人口を算入せず

國名	人口數(方里)	面積(方里)	密度(人口)
日本	五〇〇〇	二七〇〇〇	一八五〇
韓	一〇〇〇	一四〇〇〇	七〇
清	四三〇〇〇	七〇〇〇〇〇	六〇
暹羅	六七〇	三三〇〇〇	二一
露西亞	一三〇〇〇	三五〇〇〇〇	三二
瑞典	五〇〇	三〇〇〇〇	一八
那威	三〇〇	二〇〇〇〇	一五
丁抹	二〇〇	二〇〇〇	一〇〇
獨逸	六〇〇	三五〇〇〇	一七〇
奧地利	四五〇〇	四一〇〇〇	一〇九

國名	人口數(方里)	面積(方里)	密度(人口)
瑞西	三五〇	二六〇〇	一三五〇
佛蘭西	三九〇〇	三五〇〇〇	一一四
和蘭	五六〇	二二〇〇	二五六七
白耳義	七〇〇	一九〇〇	三六八四
英吉利	四四〇〇	二〇〇〇〇	二二〇〇
西班牙	一九〇〇	三三〇〇〇	五九四
葡萄牙	五四〇	五九〇〇	九一五
伊太利	三三〇〇	一八〇〇〇	一八九
希臘	二四〇	四二〇〇	五七一
自由國	三〇〇〇	一五〇〇〇〇	二〇〇

人種

二人種

世界の人類は、蒙古(色黄)・高加索(色白)・亞弗利加(色黑)・亞米利加(色銅)の四人種と、海岸島嶼人民とに大別せられ、我が國民の大部は概ね蒙古人種に屬す。

人種	特	色	種	別	員數	
亞米利加合衆國	七六〇〇	六〇〇〇〇〇	智利	三二〇	五〇〇〇〇	六四
墨西哥	一四〇〇	二二八〇〇〇	亞爾然丁	五七〇	一九〇〇〇〇	三〇
秘露	四〇〇	二二〇〇〇〇	伯西兒	一七〇〇	五五〇〇〇〇	三二
蒙古人種	皮膚黄色、眼黒くして斜なり。頭髮多くして眞直、其の色茶黒なり。頭蓋骨く頬骨隆く、顔面平圓鼻稍扁平、身幹長大ならざる、亦知矮に失せず。		日本族・韓族・滿洲族・蒙古族・漢族・苗族・西藏族・印度支那族・土耳其族・匈奴族・フィン族・ラップ族・エスキモ族等		六億	
高加索人種	皮膚白色、眼緑にして水平、眉目著しく相通り、頭髮柔軟にして捲縮し、藍色の帯あり。隆鼻廣額、顔面長く、身幹長大なり。		カフカズ族・ハム派(アラブ族・エジプト族)・セム派(ユダヤ族)・アリア派(イタリヤ族・ケルト族・チットン族・スラブ族・ギリシア族・インド族・イラニア族)等		六億五千萬	
亞弗利加人種	皮膚黒色、頭髮黒くして鬚れ且つ短し。鼻廣くして低く、顔出で唇厚く、顔面扁平なり。其の小ネグロ族中には、世界最小の人類、即ち身長僅に四尺五寸に止まるものあり。		ネグロ派・小ネグロ派(アツカ族・準ネグロ派)・ホッタントット族・カフ族(ル族)		二億	

亞米利加人種	皮膚銅色、頭髮黒くして柔かく、直正又は波状を呈す。顔廣く、頬骨高く、鼻大きく眼小きし。其のバダゴニア族は世界最大の人類にして、身長六尺二寸に達するものあり。	亞米利加印甸族は皆之れに屬す。	一 千 萬
海岸島嶼人民	概ね皮膚褐色、頭髮捲縮し鼻廣くして低し。	マライ族・オーストラリア族・バプア族・ポリネシア族等	一 億

言語

三 言語

英語は、廣く世界に行はれ、之れを使用する者、一億二千萬に達せり。是れ商用語として、各國の市場に採用せられ、且つ英國の屬地、世界の到る所に存すればなり。佛語(五千)は、國際間の用語として、文明國上流社會の交際語として、廣く用ひられ、獨語(七千)・西語(萬人)は、之れに次ぎて、使用の範圍廣し。又主として、本國のみに使用せらるゝも、使用者の多きは、清語(四億)・印度語(三億)・露語(一億)・日本語(五千)・伊語(三千五百萬人)等とす。

宗教

四 宗教

抑も國語の統一は、國家統治の上に、極めて必要にして、其の廣く行はるゝは、又以て、國運發展の基礎となすべきものなり。  
我が國語は、普通教育の發達に伴ひ、アイヌ人は勿論、臺灣にも、漸次普及せるのみならず、近時に至りては、清・韓兩國に於ても、之れを使用するもの、日に多からんとす。又悦ばしからずや。

世界の宗教は、一神教と、多神教とに大別せらる。猶太教・回教・耶蘇教は、一神教にして、神道・儒教・佛教・婆羅門教は、多神教なり。其の他野蠻未開の人民には、水火蟲獸等を崇拜するもの寡なからず。我が國に於ては、神道・佛教の二者、併び行はれ

耶蘇教を信奉するものも亦漸く増加しつゝあり。

宗教別		信徒數 萬を單位とす	百分比	備考 百分比の合計百分の百一となりしは、四捨五入の結果なり。
一 神 教	耶 舊 教	2,1200	$\frac{14}{100}$	
	蘇 新 教	1,1500	$\frac{7}{100}$	
	教 希臘教	9100	$\frac{6}{100}$	
	回 教	1,5400	$\frac{10}{100}$	
	猶 太 教	800	$\frac{1}{100}$	
	合 計	5,8000	$\frac{38}{100}$	
多 神 教	神 儒 佛 教 教 教	4,0000	$\frac{26}{100}$	
	婆 羅 門 教	1,9700	$\frac{13}{100}$	
	合 計	5,9700	$\frac{39}{100}$	
其 他	偶 像 教 等 雜 宗 教 等	3,7800	$\frac{24}{100}$	
總 合 計		15,5500	$\frac{101}{100}$	

教育

五 教育

教育發達の國家とし曰へば、人皆、英・米・獨佛を推さるるは

交通

なし。就中獨逸は、深遠なる學理の討究に努むるを以て、特に著はれ、米國は、高等女子教育の進歩せるを以て、世に許さる。我が國の教育は、維新以來著しく發達し、殊に義務教育勵行せられて、寒村僻地に至るも、今や文盲の徒、稀なるに至りぬ。又近來、家庭改良の聲、喧しきにつれて、女子教育大に振ひ國富充實の説、行はるゝに及びて、實業教育の面目、將に一變せんとす。我が教育の進歩、斯の如きを以て、東洋諸國殊に支那よりの留學生甚だ多く、又歐米諸國よりも、時に來りて學ぶものあり。想ふに、我が育成の大業が、歐米先進國に比するも、敢て遜色なきの日、夫れ近きにあらむ。

六 交通

交通機關の發達するに伴ひ、世界は日に短縮せられ、今や

天涯萬里の異域も、比隣の如くなりぬ。見よ、

シベリア。東清兩鐵道は、正に歐亞の兩大陸を近接し、南北兩米なる八條の横斷鐵道は、太平・大西兩洋を連絡せるにあらずや。人力の到底なし能はざる所とせし、シンプロンの隧道は開通し、空論奇説と評せられし、アフリカ縦貫鐵道も亦日ならずして全通せんとするにあらずや。大西洋上には十七條の海底電線あれども、太平洋上には、此の事なしと啣ちし我れ等は、今やそこに、二線の敷設を見るにあらずや。數多の大船巨舶は、各大陸間の怒濤狂瀾を航走すること、恰も坦途の如く、東西貨物の轉移、之れに仍て自由なるにあらずや。

翻つて我が交通を見んに、國內の鐵道は、既に五千哩を越

大西洋上には尙ほ無線電信の便あり

え、韓國に、京釜・京義の縦貫鐵道を通じ、滿洲に、南滿洲鐵道を有せり。而して海には、濠洲・孟買・歐洲・シアトル・桑港等を始め、大小の航路數ふるに違あらず。殊に彼の前途、頗る有望なる長江航路に於ては、清・英・佛と相並びて、中原の鹿を逐ひ、太平洋上には、米・英獨等と鎬を削りつゝあり。

諸子試に、世界の輿地圖を披き見よ、目下開鑿中のパナマ運河は、遙に蘇士運河と相應じて、我を中心となすものゝ如く、シベリア鐵道の東端、亦我れに向つて開けるにあらずや。嗚呼我が帝國が、世界貨物の集散地となり、全世界の中心市場となるべきこと、誰か之れを空想と謂はん。

貿易

七 貿易

國際間に於ては、恰も個人が分業法に則るが如く、各、其の

特長に従ひて生産を營み、以て有無相通じ、長短相補ふ。貿易即ち是れなり。而して概ね先進國は、製造品を輸出し、新開國は、原料品を輸出するを以て常となす。

各一國一箇年貿易額一覽						
名國	英	佛	獨	米	伊	西
輸出(千單位)	四六	二五	三〇	三九	三	四
輸入(千單位)	三三	三四	四三	二五	七	五
合計(千單位)	一四七	四九	七三	六四	一〇	九

名國	蘭	匈	白	露	清	日
輸出(千單位)	一七	三	一〇六	一一	三	五
輸入(千單位)	二〇	九	一三	六	七	四
合計(千單位)	三六	一二	一二	一七	一〇	九

我が貿易は今尙ほ幼稚にして、其の總額九億圓に止まれども、之れを過去十年前に比するに、約二倍弱の増加を來し就中最要輸出品たる生絲は、其の輸出額、遂に一億圓を計上

するに至れり。而して戰後、實業の發展は、實に驚歎すべきものあれば、貿易額の急増や、刮目して見るべし。想ふに、我が貿易が、歐米先進國の伍班に列するも、遠き將來にあらざらむ。

領事は、海外に駐在し、主として、本國の商業貿易の發達を計るものとす。我が領事館所在地は、左の如し。(分は分館、總は總領事館但し、韓國の分は理事廳なり。)

亞	細	亞
亞細亞	清國	韓國
天津(總)	漢口(總)	京城
芝罘	長沙	新義州
上海(總)	廣東(總)	大邱
南京	營口(牛莊)	木浦
蘇州	奉天(總)	群山
杭州	吉林	仁川
厦門	哈爾濱(總)	鎮南浦
安東		平壤
孟買		
香港(總)		
マニラ		
新嘉坡		
盤谷		
カルカッタ(總)		
浦鹽斯德(總)		
ニコラエフスク		
バタビア		

國體政體

大洋洲

シドニー(總)  
ホノル、(總)

歐羅巴

倫敦(總)  
アンペル  
モスクバ

兩米

桑港(總) シアトル、  
シカゴ 紐育(總) オタワ(總)  
晚香坡 メキシコ(總) リオデジネロ(總)

八 國體政體

統治權が、國民全體に共屬するを、民主(和共)國體と曰ひ、南北兩米の諸國は、皆之れに屬す。之れに反して、統治權が、君主に專屬するを、君主國體と稱し、英、露、獨、墺等の諸國之れに屬す。政體は、立法司法行政の三大統治機關が、分存せるや否やによりて、立憲專制の二に分たる。歐米の諸國は、概ね立憲政體にして、清、韓、暹羅の如きは、專制政體なり。  
我が國は、建國以來、君臣の名分、いと正しき君主國體にして、又明治二十三年以來は、立憲政體に則れり。

軍備

九 軍備

個人の道徳は、日に進歩の傾向あれども、國際間にありては、動もすれば、悲風血雨の修羅場を生ずること、今も昔に異なるなく、即ち永久の平和は、到底近き將來に於て、企て及ぶべき所にあらず。此の故に、現時世界の強國は、何れも軍備の擴張に力めざるはなし。

我が陸軍は、臺灣に駐屯するものを除き、十九個師團より成れり。(南樺太及滿韓には各師團より交代駐屯せしむ)其の數は、敢て列強を凌駕するに足らざれども、國家一旦緩急あれば、百萬の貔貅、忽ち大轟の下に動き、其の忠勇義烈は、鬼神を泣かしめ、懦夫を起たしむるものあり。清の和を請ひ、露の連敗せしも、亦故あるかな。  
我が海軍は約五十餘萬噸、即ち世界海軍國の中位を占む。

世界強國軍備比較  
は中巻結論に掲げ  
たり

外交

祖先以來、船を家とし、波を枕とし、海國男子、百鍊千磨の功  
空しからで、清露の大艦隊を粉砕せしかば、今や我が海軍は  
東洋の海面を壓するの慨あるのみならず、薩摩・生駒の如き  
巨艦、我が手によりて、作造せらる。嗚呼、又盛ならずや。

一〇 外交

輕しく干戈を動かすは、是れ現時文明國の通義となす所  
にあらず。即ち戦争は、實に止むを得ざる場合に於ける、最後  
の手段に過ぎざるなり。此の故に文明國は、或は國情の疏通  
に努め、或は使臣を遣りて、交情を温めざるはなし。

我が國は、開國以來、日尙ほ淺きも、今や武陵桃源の夢全く  
醒めて、所謂條約國二十五を有し、世界の主要國を擧げて洩  
すなし。中にも、英・米・獨・佛・露・奧・伊には、世界一等國の例に倣ひ

て、大使を派せり。

諸子試みに、眼を東洋の局面に放てよ。韓國の外交權は、悉  
く我が國の手に屬せしにあらずや。老大清國の保全は、我が  
國の主張に依つて確持せらるゝにあらずや。大英帝國とは  
堅く攻守同盟を締結して、極東及び印度方面に於ける、平和  
と利益とを維持せるにあらずや。佛・露・米亦吾が帝國と協商  
して、太平洋上又は極東の平和を保證せるにあらずや。即ち  
我が國は、正に東洋の覇者にして、又世界の重鎮たりと謂つ  
べし。

屬地

一一 屬地

屬地は、或は船舶の寄港地となり、或は艦隊の根據地とな  
り、或は激増する住民の移住に充つべし。若し夫れ、其の屬地



が發達することあれば、母國・子國の關係によりて、産物の需給を計り、以て長へに、相互の經濟的利益を謀るに足るべし。彼の英國が、富強を極むる所以のものは、一は屬地多きが爲に、あらずや。現時列強が、屬地の擴張に熱心なるも、亦理あるかな。

諸國の本國・屬地面積			
名國	英	露	佛
本國面積	11,000 <small>方里</small>	15,000	15,000
屬地面積	17,000 <small>方里</small>	27,000	7,000
本國面積に對する屬地面積の比	六	三	二

名國	蘭	葡	伊	日
本國面積	2,100 <small>方里</small>	5,900	1,800	2,950
屬地面積	13,000 <small>方里</small>	12,500	5,200	
本國面積に對する屬地面積の比	六	二	三	

我が版圖は、近時大に擴張せり。見よ、臺灣は謂はずもがな。樺太の南半は、遂に旭旗の翻る所となりしにあらずや。永く

結論

一二 結論

東洋騷亂の禍根たりし韓半島は、今や我が保護の下に立ちしにあらずや。而して又南滿洲は、是れ我が同胞が、活躍すべき新天地にあらずや。

吾人は、我が移住民の少なきを知る。殊に黄色人たるの故を以て、時に擯斥せらるゝことあるを知る。又交通・貿易さては屬地などの、列強に比して、大に遜色あるを知らざるにあらず。然れども試に想へ、歐米先進國の間に、國を開きし以來果して幾年をか經たる。而かも尙ほよく、今日の地位に達せしは、則ち長足の進歩と謂つべく、又以て、他日の發展を卜知するに足らん。

征清役の瘡痕、未だ全く癒えざりし、我が帝國は、強大露國

と戦ひて、今や國債總額、二十億圓に上ほり、其の年々の利子のみにて、約一億圓(征清役前の我が識計は一億圓に足らざりき)に達するにあらずや。而かも國民は、敢て挫折の色あるなく、勇往邁進、之れを内にしては、只管殖産興業を計らざるはなく、之れを外にしては一に膨脹發展の歩武を進めざるはなし。

嗚呼斯くの如く、旭日東天の勢を以て、國運日に發展せる我が帝國は、又氣候温和にして、山水の風光宇内に冠絶し、五千萬の蒼生、聖代の浩恩に霑へり。苟も此の帝國の承繼國民たるものは、其の多幸多福を喜ぶと同時に、其の重大なる責任を自覺せざるべけんや。

訂修外國新地理 下卷終

明明明明明明  
治治治治治治  
四四四三三三三  
十十十十十十  
二二二一九九八八  
年年年年年年  
三三一三三十一  
二二二二二二  
月月月月月月  
十八二廿十七十  
二八五二  
日日日日日日  
修訂訂訂訂訂  
訂訂訂訂訂訂  
四四四四四四  
版版版版版版  
發行發行發行  
行行行行行行

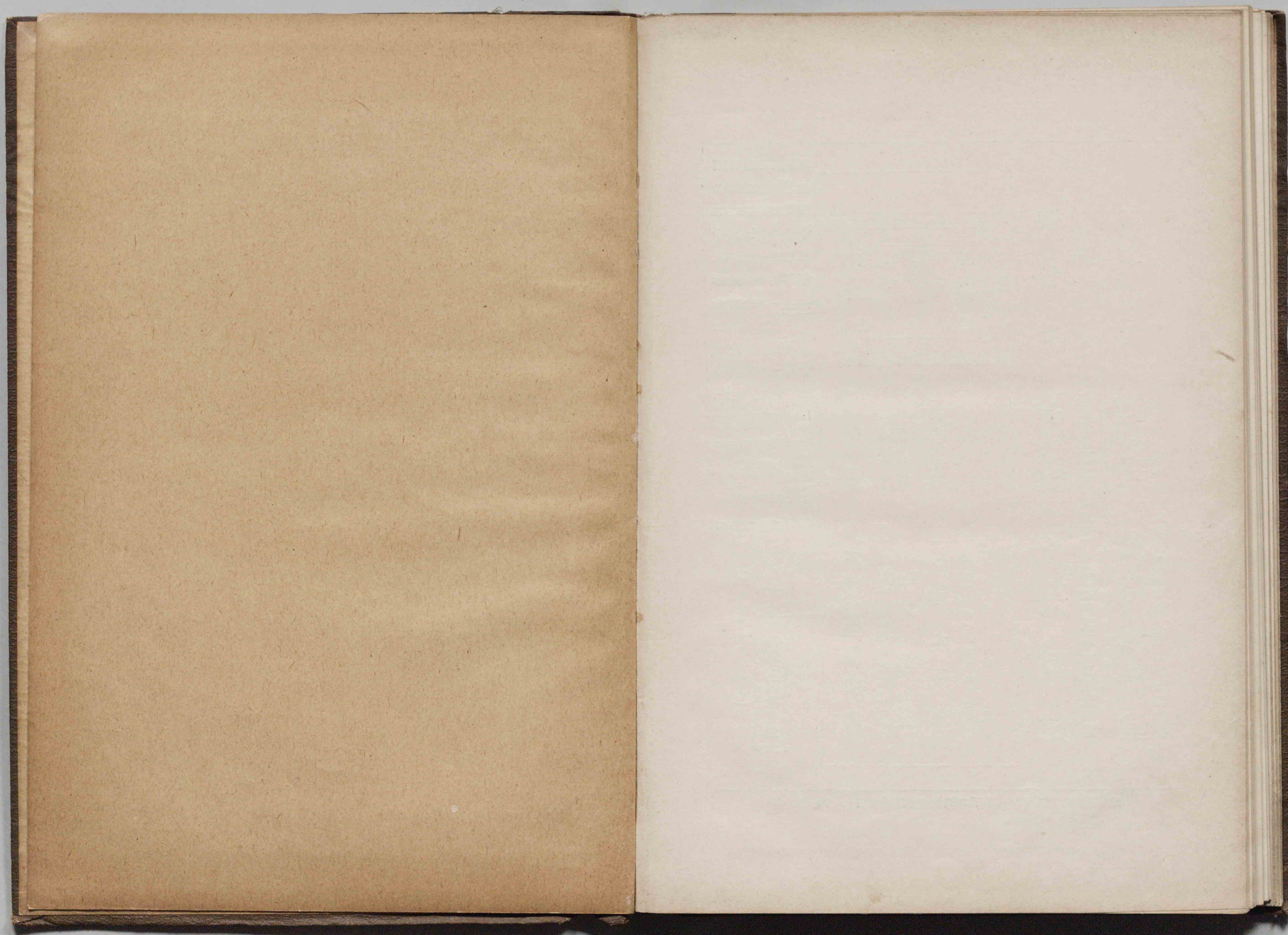
(訂修外國新地理上中下)  
定價各卷金四拾五錢

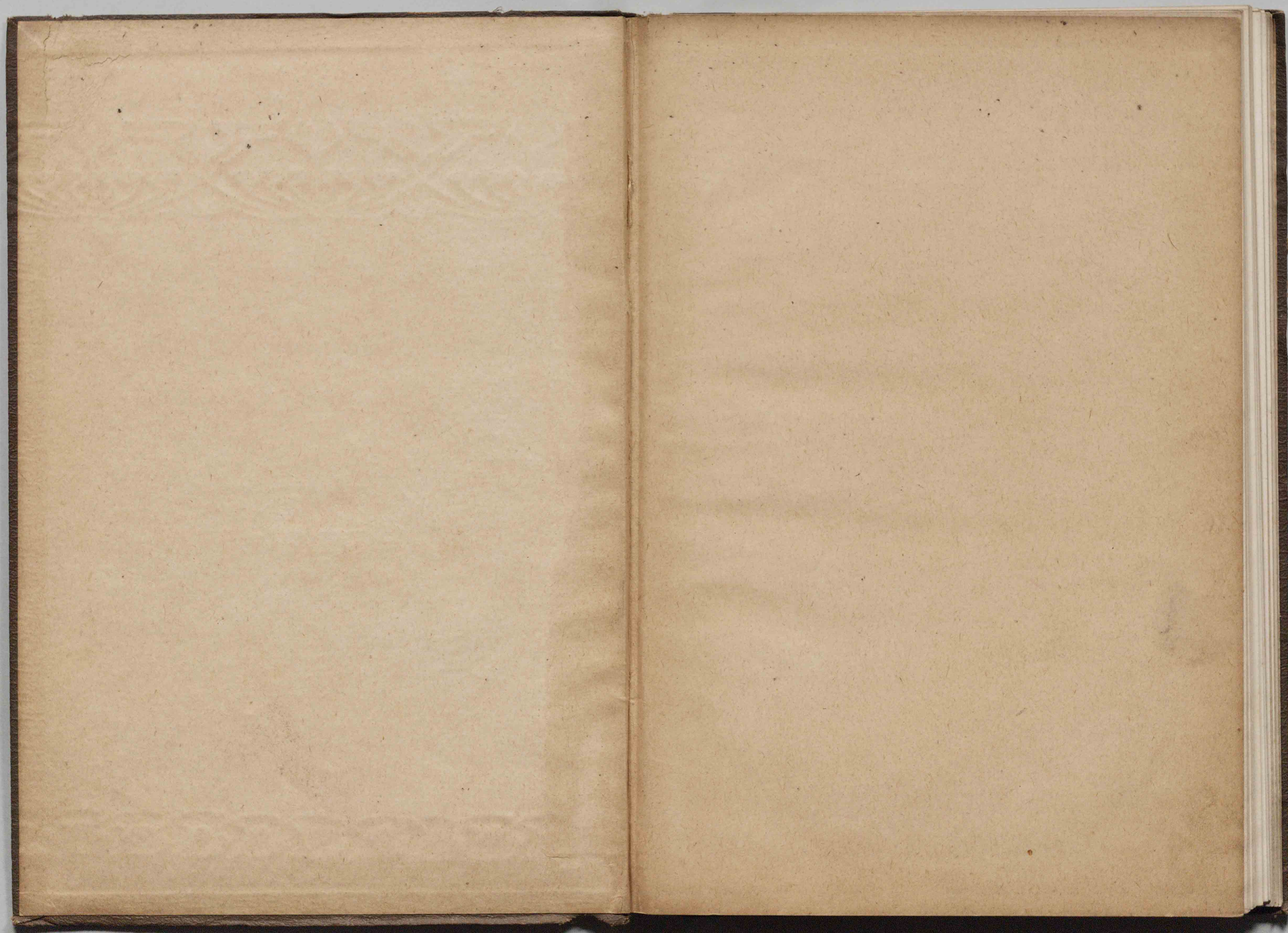


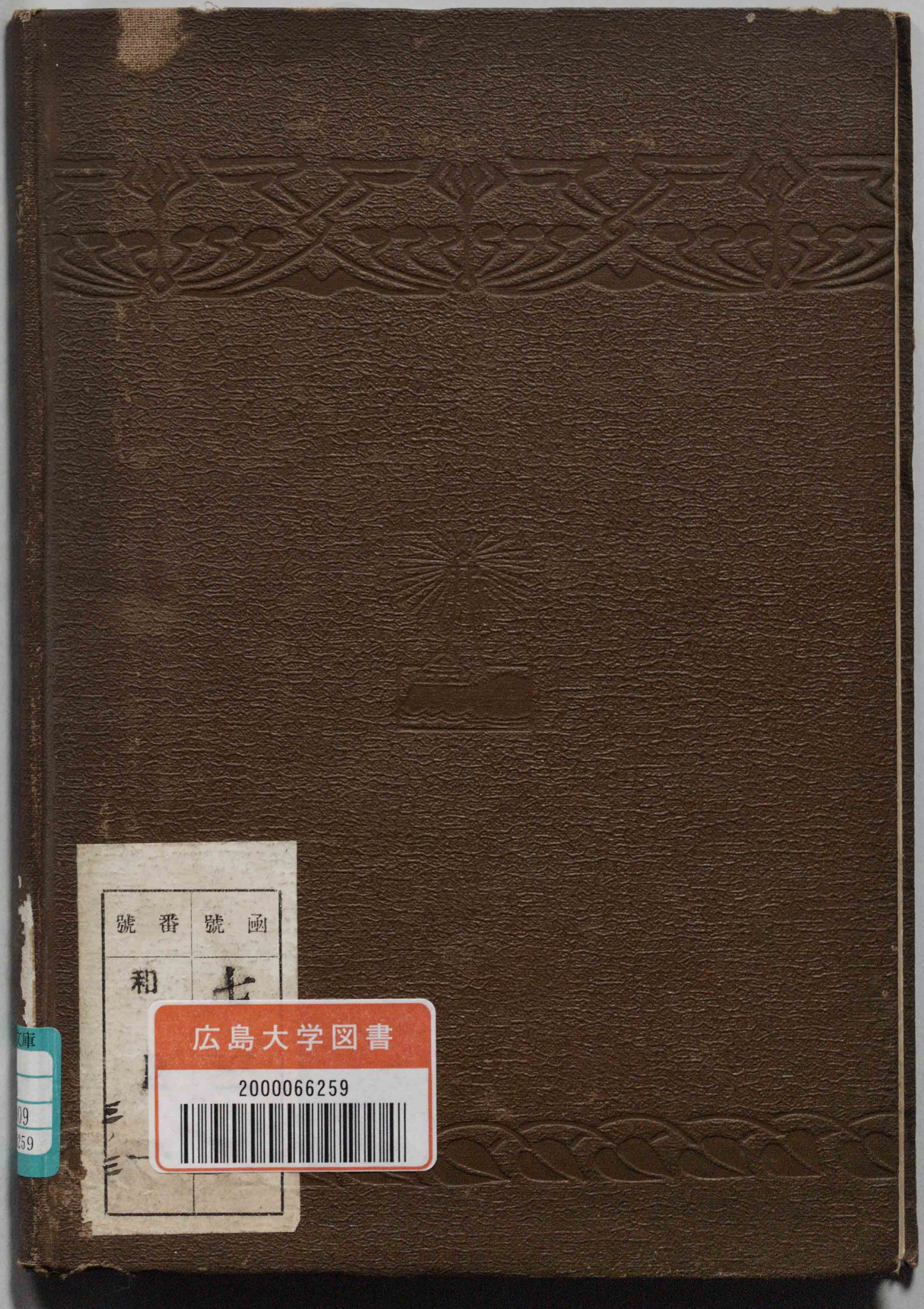
編者 六盟館編輯所  
發行者 東京市日本橋區鐵砲町三番地 合資六盟館  
右代表者 杉本七百丸  
印刷者 東京市京橋區木挽町二丁目十三番地 新井由藏

發行所 東京市日本橋區鐵砲町三番地 合資六盟館  
電話特長浪花二七六四番 振替口座東京一二五五〇番

特約大販賣所 大阪市南區心齋橋筋一丁目 松村文海堂  
電話長南九番 振替口座大阪 四三三〇番







函	號
番	號
和	七

文庫  
09  
259

広島大学図書  
2000066259  
